

白馬村

第3期子ども・子育て支援ニーズ調査
集計結果



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

2024年8月

調査の概要

(1) 調査目的

白馬村では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「白馬村第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしました。この計画の策定に先立ち、確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための基礎資料として、就学前児童の保護者の意向を把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査項目

住民の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」について

(3) 調査対象者

令和6年7月1日現在、村内に在住する就学前児童（0歳から5歳。ただし、同じ世帯に2人以上の対象児童がいる場合は一番年上の児童としています。）の保護者。

(4) 回収結果

調査対象	発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	225	85	37.8%

(5) 調査結果の取り扱い

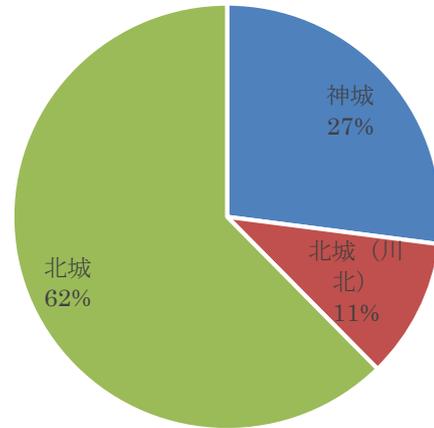
本集計結果については、分析・検証を行い、「白馬村第3期子ども・子育て支援事業計画」に掲載いたします。

お住まいの地域に関する質問

問1 お住まいの地区は

区分	回答数	割合
神城	23	27.1%
北城（川北）	9	10.6%
北城	53	62.4%
合計	85	100.0%

北城（川北）…落倉・切久保・新田・森上・塩島・通・立の間・青鬼・野平・どんぐり・中込

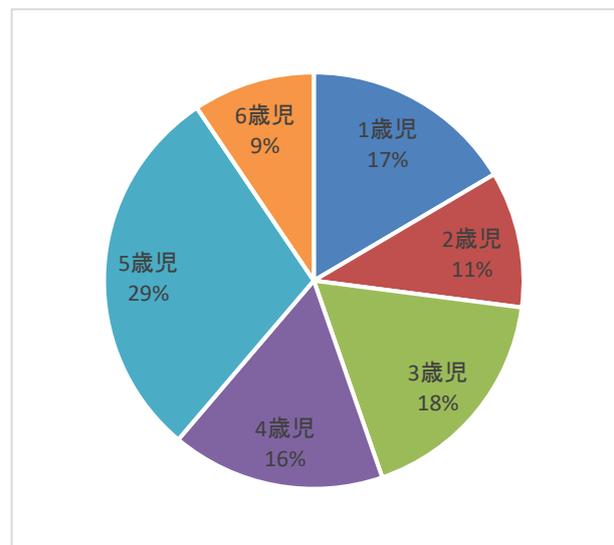


概ね北城地区が4分の3、神城地区が4分の1となっている。

宛名のお子さんご家族の状況に関する質問

問2 宛名のお子さんの年齢は

区分	回答数	割合
0歳児	0	0%
1歳児	14	16.5%
2歳児	9	10.6%
3歳児	15	17.6%
4歳児	14	16.5%
5歳児	25	29.4%
6歳児	8	9.4%
合計	85	100.0%

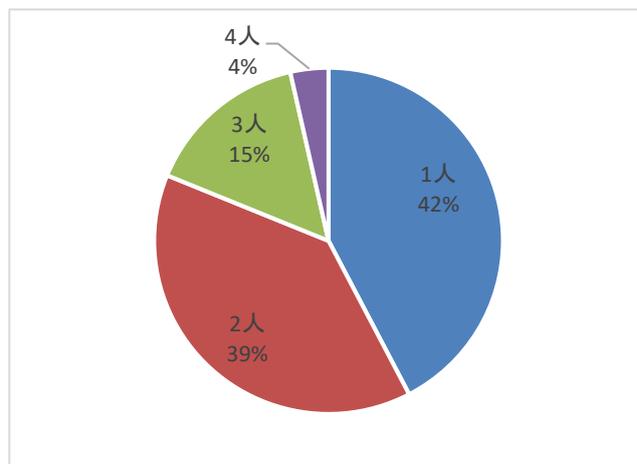


きょうだいがいる場合は一番年上を対象児童としているため、このような結果となった。

問3 宛名のお子さんを含むきょうだい数とその末子の年齢は

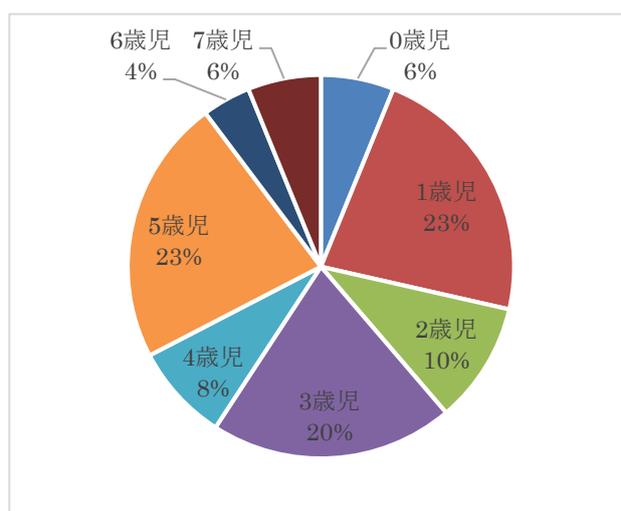
子の人数

区分	回答数	割合
1人	36	42.4%
2人	33	38.8%
3人	13	15.3%
4人	3	3.5%
合計	85	100.0%



末子の年齢

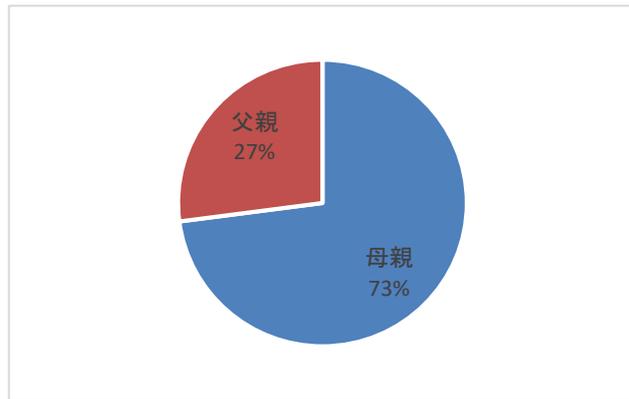
区分	回答数	割合
0歳児	3	6.1%
1歳児	11	22.4%
2歳児	5	10.2%
3歳児	10	20.4%
4歳児	4	8.2%
5歳児	11	22.4%
6歳児	2	4.1%
7歳児	0	0%
8歳児	0	0%
9歳児	3	6.1%
合計	49	100.0%



子の数は1人が36名（42.4%）と一番多く、次に2人が33名（38.8%）となっている。また、末子の年齢は0歳児と5歳児が並んで11名（22.4%）と一番多い。

問4 アンケートの回答者は

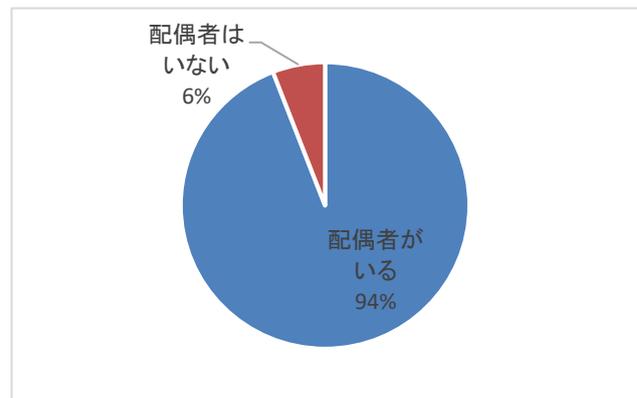
区分	回答数	割合
母親	62	72.9%
父親	23	27.1%
合計	85	100.0%



母親が62名（72.9%）、父親が23名（27.1%）となっている。

問5 回答者の配偶関係について

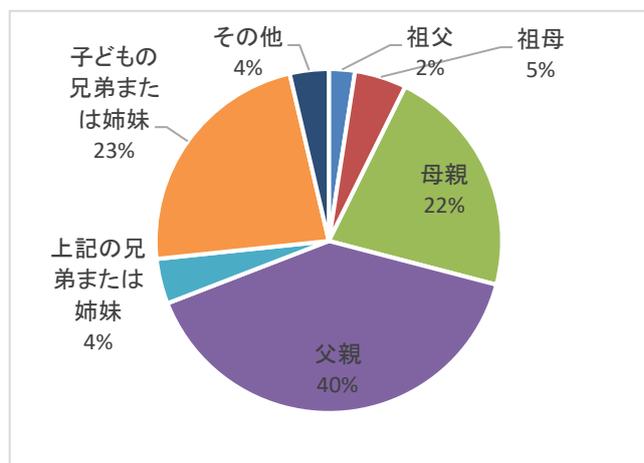
区分	回答数	割合
配偶者がいる	80	94.1%
配偶者はいない	5	5.9%
合計	85	100.0%



「配偶者がいる」が80名（94.1%）、「配偶者はいない」が5名（5.9%）となっている。

問6 回答者以外に同居している方は（お子さんからみた続柄）（重複回答）

区分	回答数	割合
祖父	4	2.4%
祖母	8	4.8%
母親	36	21.8%
父親	66	40%
上記の兄弟または姉妹	7	4.2%
子どもの兄弟または姉妹	38	23%
合計	165	100.0%

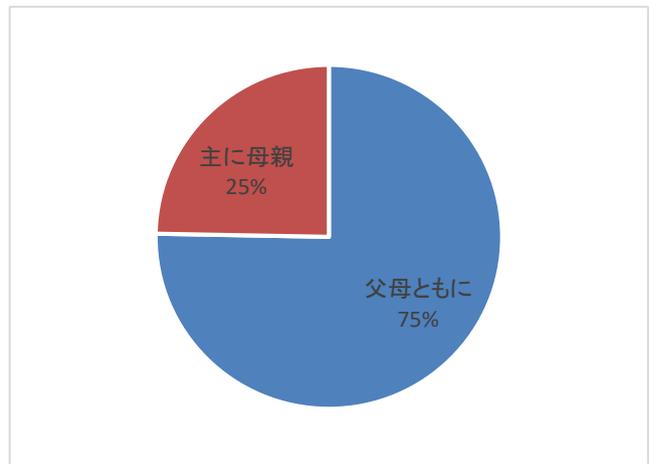


「父親」が66件（40%）で一番多く、「子どもの兄弟または姉妹」が38件（23%）、「母親」が36件（21.8%）となっている。

問7 子育て（教育を含む）を主に行っている方は

区分	回答数	割合
----	-----	----

父母ともに	64	75.3%
主に母親	21	24.7%
主に父親	0	0%
主に祖父母	0	0%
その他	0	0%
合計	85	100.0%

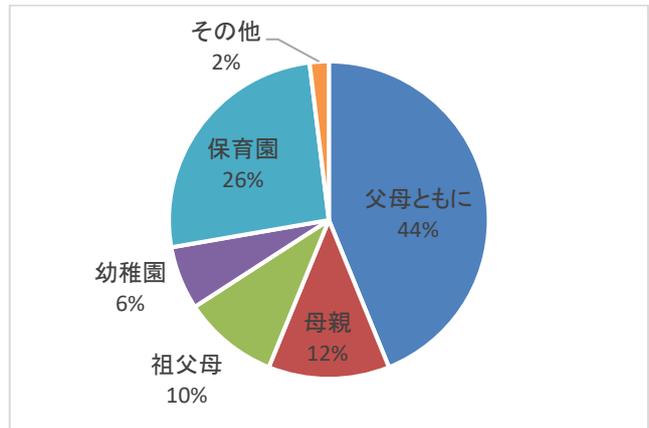


「父母ともに」が64名（75.3%）で一番多く、次に「主に母親」が21名（24.7%）となっている。

子どもの育ちをめぐる環境に関する質問

問8 子育てに日常的に関わっている方（施設）は（重複回答）

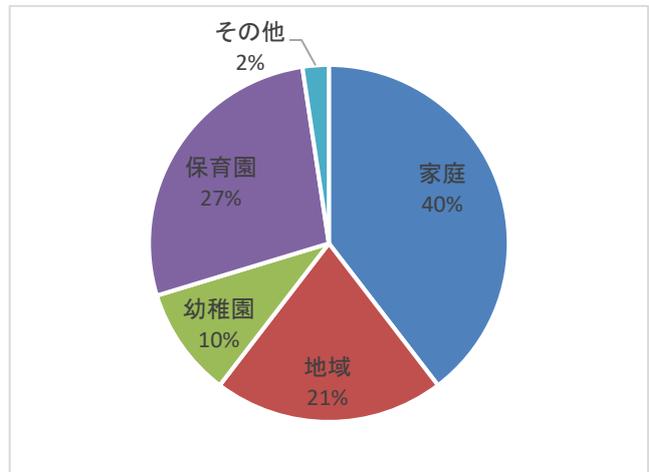
区分	回答数	割合
父母ともに	68	43.9%
母親	19	12.3%
祖父母	15	9.7%
幼稚園	10	6.5%
保育園	40	25.8%
その他	3	1.9%
合計	155	100.0%



「父母ともに」が68件で一番多く、次に「保育園」が40件となっている。

問9 子育てに影響すると思われる環境は（重複回答）

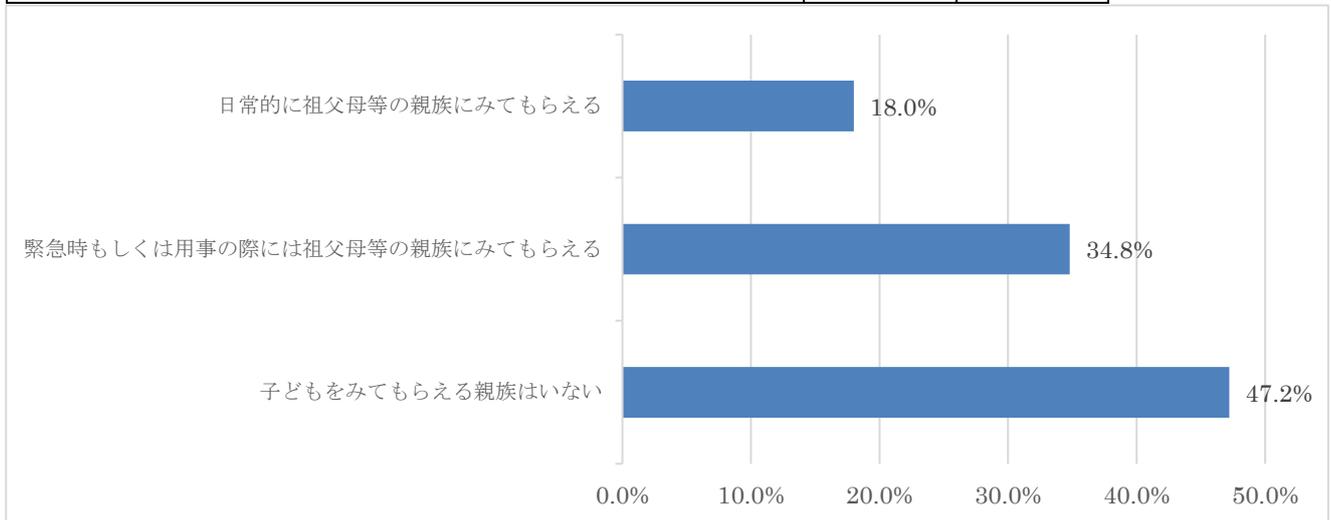
区分	回答数	割合
家庭	84	39.6%
地域	44	20.8%
幼稚園	21	9.9%
保育園	58	27.4%
その他	5	2.4%
合計	212	100.0%



「家庭」の回答が84件で一番多く、「保育園」の回答が58件、「地域」の回答が44件となっている。

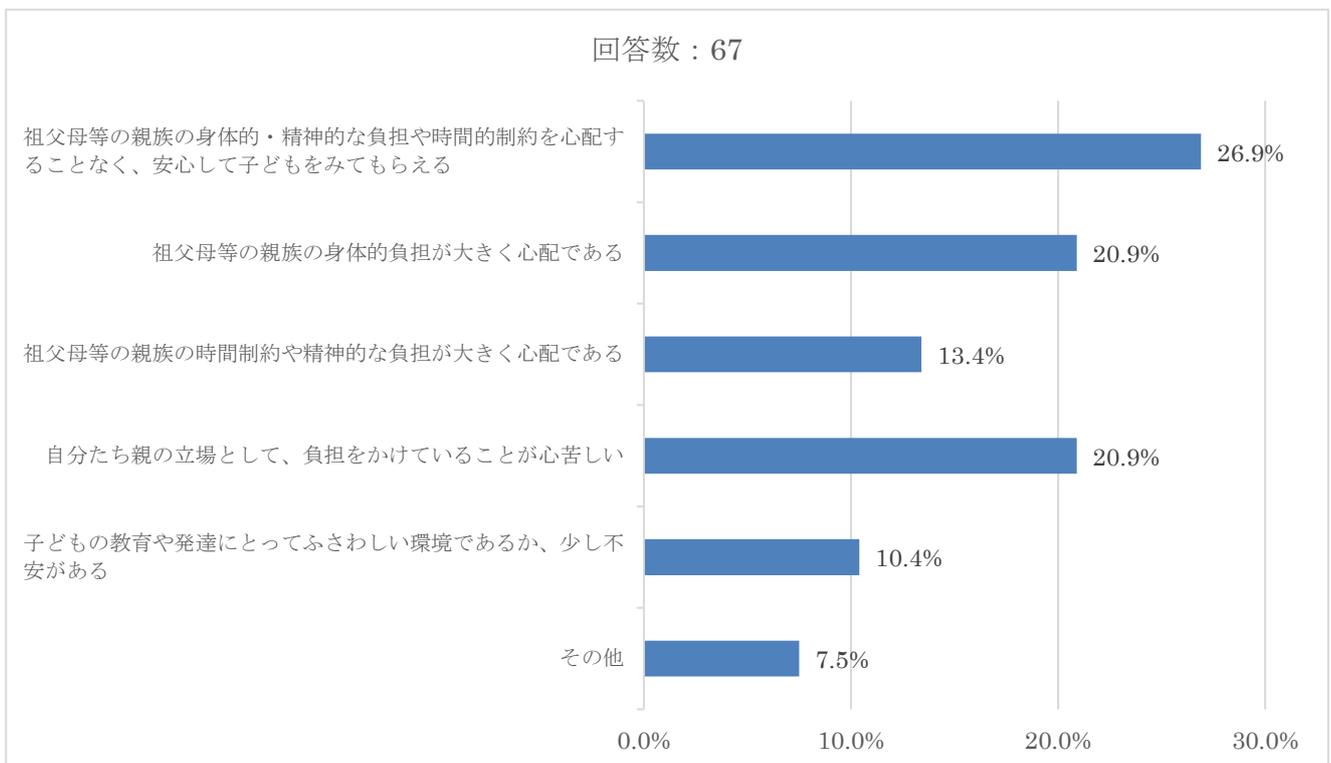
問10 お子さんをみてもらえる親族がいるか（重複回答）

区分	回答数	割合
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	16	18.0%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	31	34.8%
子どもをみてもらえる親族はいない	42	47.2%
合計	89	100.0%



日常時または緊急時もしくは用事の際に「祖父母等の親族にみてもらえる」が52.6%、「子どもを見てもらえる親族はいない」が47.2%とおおよそ半々の回答だった。

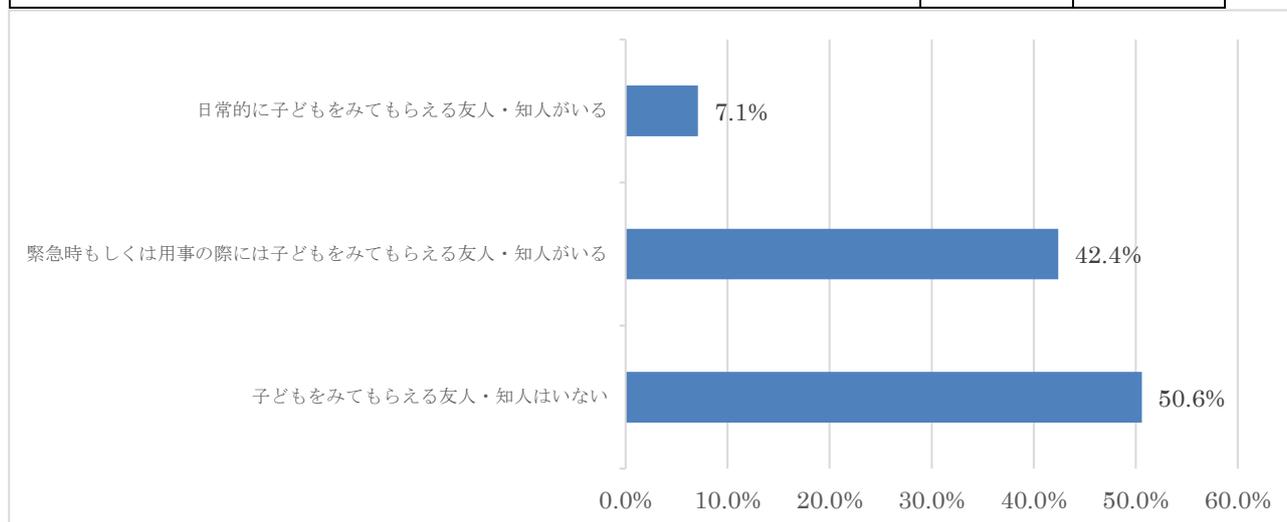
問10-1 【問10で親族にみてもらえると回答した方】のお子さんをみてもらっている状況について（重複回答）



「祖父母等の負担や制約を心配することなく預けられる」が26.9%で一番多いが、みてもらうことに心配や心苦しい、不安という回答が大半を占めた。

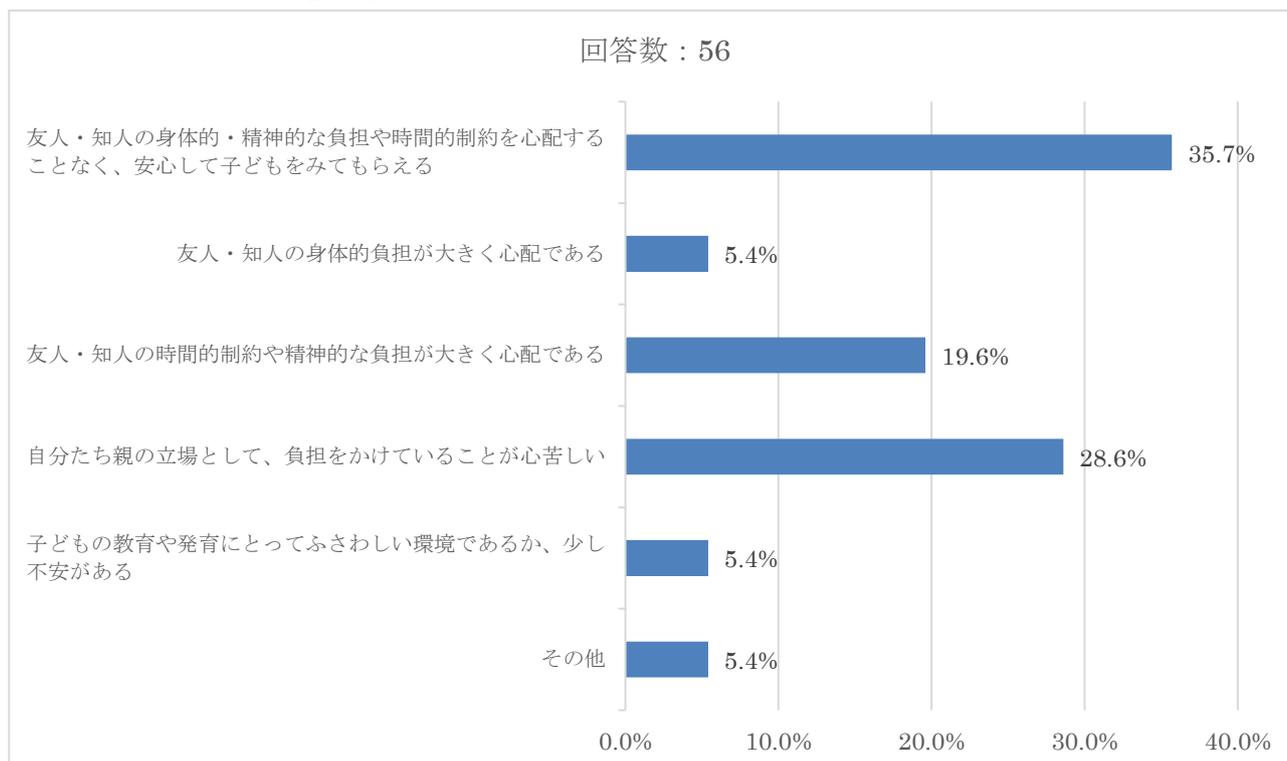
問 11 お子さんをみてもらえる友人・知人がいるか（重複回答）

区分	回答数	割合
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	6	7.1%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	36	42.4%
子どもをみてもらえる友人・知人はいない	43	50.6%
合計	85	100.0%



日常時または緊急時もしくは用事の際に「友人・知人にみてもらえる」が 49.5%、「子どもを見てもらえる親族はいない」が 50.6%とおおよそ半々の回答だった。

問 11-1 【問 11 で友人・知人にみてもらえると回答した方】のお子さんをみてもらっている状況について（重複回答）

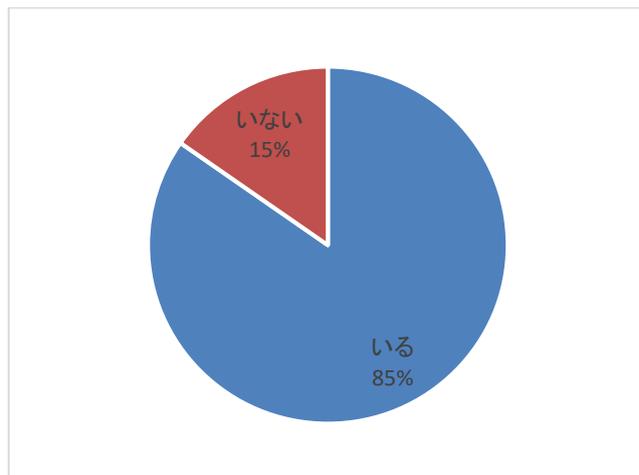


「友人・知人の負担や制約を心配することなく預けられる」が 35.7%で一番多いが、みてもら

うことに心配や心苦しい、不安という回答が大半を占めた。

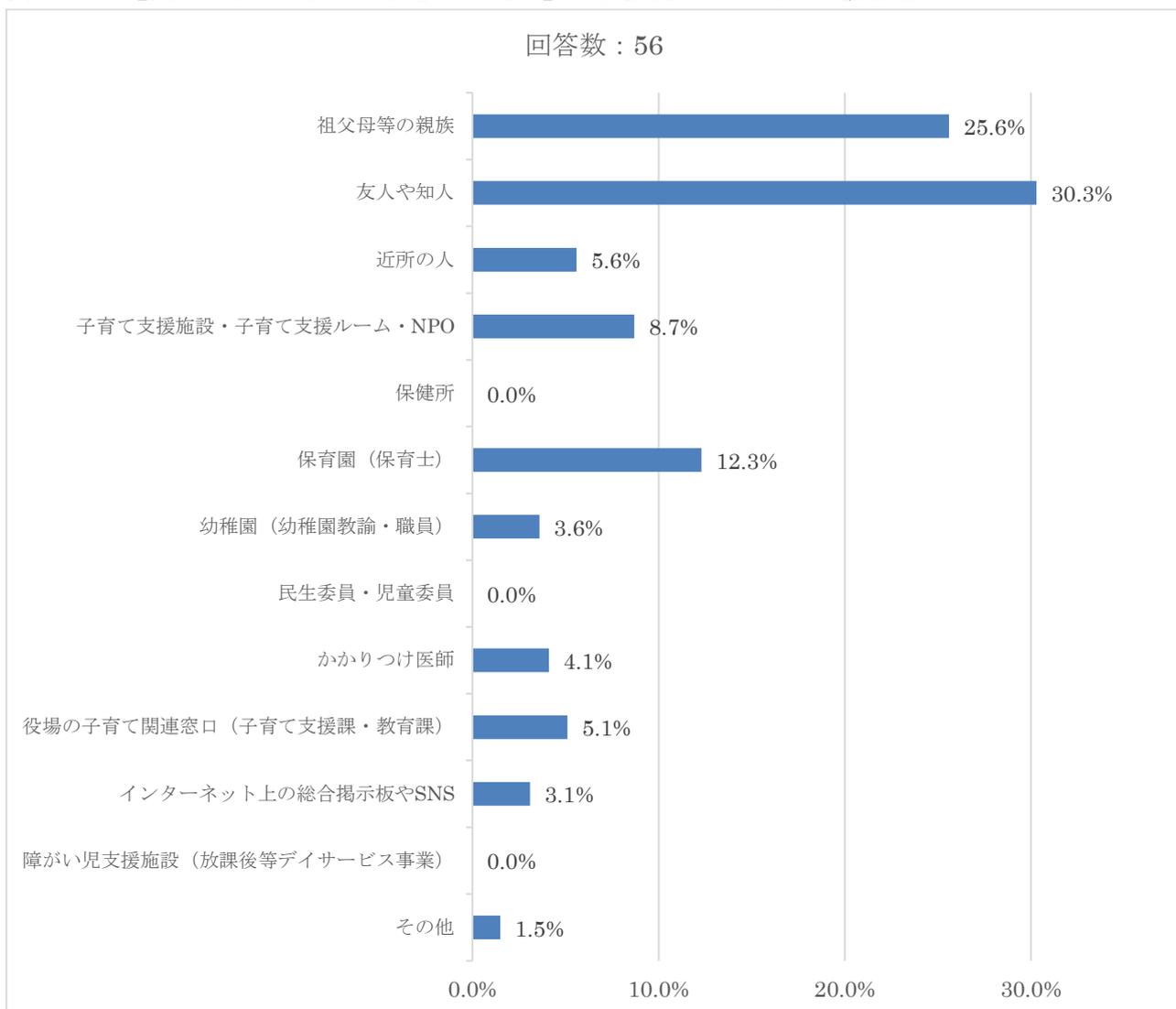
問 12 子育てをする上で気軽に相談できる人、場所について

区分	回答数	割合
いる	72	84.7%
いない	13	15.3%
合計	85	100.0%



「いる」と回答した方が 84.7%を占めている。

問 12-1 【問 12 で いる に○をつけた方】の相談先について（重複回答）



「友人や知人」の回答が一番多く、合計すると 30.3%となっている。次いで、「祖父母等の親族」

が 25.6%、「保育園（保育士）」が 12.3%となっている。

問 13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか（自由記載）

- 気軽に年齢制限なく預けられて病院に他の兄妹を連れて行く時や用事の時に預かって欲しい。障害児以外の兄妹との時間を作るために預かって欲しい。障害児でも理解があって対応してもらえて安心して預けられる場所が欲しい。
- 24 時間 365 日子供を預ける事が出来る施設があれば助かる。
- 体調など不安なことがある時に、気軽に相談できるサポートがあればありがたい。安心して体を動かせたり、色々な体験ができるプログラムがあれば嬉しい
- 父母が日常的に交流ができる場所
- 保育士と子供が関わる時間が長いので、園での様子から分かるアドバイスをもらえると助かると思う。
- 情報のわかりやすい共有 子育て中に情報を探すのは大変なのでわかりやすく必要な情報を届けてほしい（行政 保育園幼稚園 発育など）
- 短時間でも、親の代わりに子供を見守ってくれると助かります。
- 土日の支援ルームの開放（有料でもいいので）。第一子だけだと、周りのママ友が作りにくい。多子家庭はすでにママ同士で仲が良く、そのグループには入りづらく感じる。0 歳のときだけではなく、もう少し月齢が上がってきても、集まって情報交換する機会などがあると安心できる。
- 頼りたい時に頼れる環境があると助かります。
- すごく大変です。自然に恵まれ、大変良い環境ではありますが、気軽に預けられるところ、相談にのってくれるところもなく、我が家は歳が近いので子育てするには周囲の支えがないと難しいです。主人の帰りも遅く、冬はほとんどワンオペ三昧で、気持ちはあっても体がついてこなくなってしまう。小学校の北と南で人数に差があるのも不安です。我が家はここ数年のうちに白馬を出て、手厚いサービスと子育て支援に力を入れた地域に引っ越す予定でいます。
- 同世代の子育て親子があつまれる場所の整備。ワンオペでも連れて行きやすい、遊び場やご飯を食べれるところ
- 1 歳未満でも 2.3 時間預かってもらえるサポートがもっとほしい。支援ルームでも 6 ヶ月以上で預けれるが 6 か月の翌月 1 日からなど理由もよくわからない。そして月、水のみでは必要な時に使えずあまり意味がないように思いました。必要時しか預けたりはしませんが、もう少し使いやすい体制に整えてほしい。
- お金がかかっても自由に預けられると嬉しい。
- 育児へかかる金銭的な支援（物品購入の補助金等）が現状より充実してもらえるとありがたい。県の子育てパスは店舗によって使用できなかつたり使える曜日が決まっていたりで子どもを育てながら活用していくのは難しい。
- 専門的な方に、気軽に相談できる環境
- 子供(家族)が気軽に遊べる場所がもっと増えたら嬉しい。公園や散歩コース、村内施設の村民割引など増やしてほしい。
- 現在ではないが、産後に買い物サポートなどがあつたらいい。年齢に合ったお預かりサービ

ス。

- 共働きなので、子育てと両立できる職場環境がほしい。
- 今子供2人がそれぞれ小学校、保育園と通っているので、日中特にサポートが必要とは思っていません。ですが、2人の子が3歳未満の頃は、家でワンオペで見ていたので疲労困憊しており、周囲に安心して預けられる公共施設があればなと強く思っていました。安心と言うのは、もっと自然の物に取り囲まれたやさしい環境下で、プラスチックやテレビなどが主とした環境ではない場所の事です。そうすれば、安心して預けさせてもらって、自分に少し時間と心の余裕ができたのかなと思います。
- 上の子が未満児の時こそ、下の子が生まれた時に簡単に預けられるようにして欲しい。母体の身体の回復もしていない時に生まれたばかりの子をお世話しながら上の子も母親1人で家でお世話するのは負担が大きすぎると思う。仕事をしていなくても兄弟が産まれた家庭も未満児さんを預けられるようにして欲しい。
- 夕方延長の延長(時間外労働に対応するため夜19時まで)。核家族の親の負担を減らすため、地域で子どもを育む場の拡充(子ども教室の利用日の拡充、長期休み対応、高校生や大学生が宿題をみてる活動)
- 産後すぐに預けられる施設、産後の母親がゆっくり寝られるよう母親の負担を減らせる施設
- 家事のサポート(子どもの風邪、病気の時など母親はすごく疲れているので、洗濯物をコインランドリーで乾燥して畳んできてもらえる、子どもと一緒に食べられる栄養スープなど鍋ごと注文出来る、買い物代行、などちょっとした事を気軽に頼めるといい)
村の健康診断は子どもを連れて行けるのか?ちょっとした時間なら見てくれる等予めアナウンスされていると助かる。
村内歯医者も限られているため、母親が歯医者、通院、美容室へ行く等するのにかなり長い時間一時預かりを利用しなくてはならない。金銭的にも厳しいし、予約が必要なものが重なるだけでも疲れるので、だいたい事を我慢している。
公共施設、民間のものにかかわらず、村内各所子どもと利用しやすいトイレか見直して欲しい。おむつ交換は車内でも出来るが、未就園児を連れてトイレをするのだけでも大変。
- ジャッジされない姿勢。少し話がずれますが…今はお世話になっていないが三歳未満で支援ルームに預ける際、仕事している人が優先の雰囲気があった。また利用するほうも仕事をしてない引け目があり、リフレッシュで利用しづらい。
上記の暗黙の了解がある雰囲気があったので、仕事有無でジャッジされない分け目なく利用できる一時預かり施設があればよい。
- うちありがたいことに、実家もそばにあるため祖父母もおり、関わりが持てるが、頼れる人がいない家庭などもたくさんあると思うので、困った時短時間でも気軽に預かってもらえる場があれば助かると思う。また、近くに総合病院もないため、夜間の救急など、夜中でもその場で相談できる分かりやすいサポート体制があるといいなと思う。
- 家に来て数時間とか子供の世話をしてくれるサービス
- 子供が様々な体験をできるようなイベントをどんどん作って頂けたら刺激的で良い。
- 周囲と言うよりは、子育てのできる働き方。これは重要ですが、経営者としては負担が大きすぎる。両者の両立は物理的には不可能ですが、金銭サポートなら解決の可能性はあります。

非現実的ですが。

- 休日自由に遊べる施設、またその施設での交流行事の充実化。入園や入学のお祝い金。持続的な経済面のサポート。
- 1番感じている事は、子供たちの遊び場が無いということです。気軽に行ける公園、図書館、児童館などの複合施設があるといいなと感じています。グリーンスポーツも遊具も少なくなっているし、古くて劣化していて危険だとも感じます。地元の村民が魅力を感じない施設のままでは、いけないんじゃないかと思います。あとは、補助の面です。正直、村長が代わってから変化を感じないように思います。子育て世代への支援を訴えてくれていたように思いますが、あまり変化が感じられません。
- 一時保育サービス。村内で10ヶ月未満を預けられるサービスがかなり限定されるため、長野市内に範囲を広げて利用検討中ですが、わざわざ長野市内まで行かなくてはいけないので、村内に半日から1日預けられるところがあれば、フリーランスの仕事の復帰の道筋を考えやすいです。また、遅い時間の保育サービスがあると助かります。
- 乳児を預かってくれるサービス。育休退園がないこと。親戚や家族が近くにいないため。また、リモートワークをしている父親がいる家では、保育園を退園になった上の子が仕事の邪魔をするため困っている。
- 大きな公園が欲しい
- 小さい子供から中学生はじめ、地域のかたが気軽集える公園と屋内施設（図書館）があり晴れでも雨でも保育園、幼稚園、学校が終わった後、週末気軽に天候に左右されない遊べる場所が欲しい。自転車、ストライダー、スケボー、インラインスケート、球技、自転車などなどジャンルを問わない遊びが可能、かつ噴水広場なども夏場はうれしいです。大自然の光と風を浴びて快適に安全に過ごせる場所がほしい。
- 街には大きくて綺麗な公園がたくさんある。白馬には子供を安心して遊ばせる公園（遊具、噴水）などが全然ない。
- 雨の日や猛暑日でも遊べる室内施設がほしい。遊びだけではなく、図書館が併設されてるなど複合型であったり、木のおもちゃがあるなどの知育的要素のある場所がほしい。（木曾や全国にある、おもちゃ美術館や、松本市民博物館のキッズルームを利用してとても良いと感じたため）
- 職場での理解、欠勤に対する補填、収入面での相談できるところがほしい。祖父母でも遊びに連れていきやすい環境や場所、施設があるとありがたい。
- お金がかからないで遊べるスペース。図書館を利用しているが古い本ばかりで、結局隣町へ。スペースに限りがあるのはわかるが、いつまでもそのままなのは悲しい。全く前に進んでないように感じる計画。先延ばしにしすぎ。

村民に補助があれば嬉しい。スキー場を利用しやすくなるなど。体操教室、クラブなど分かりやすく案内を出して欲しい。

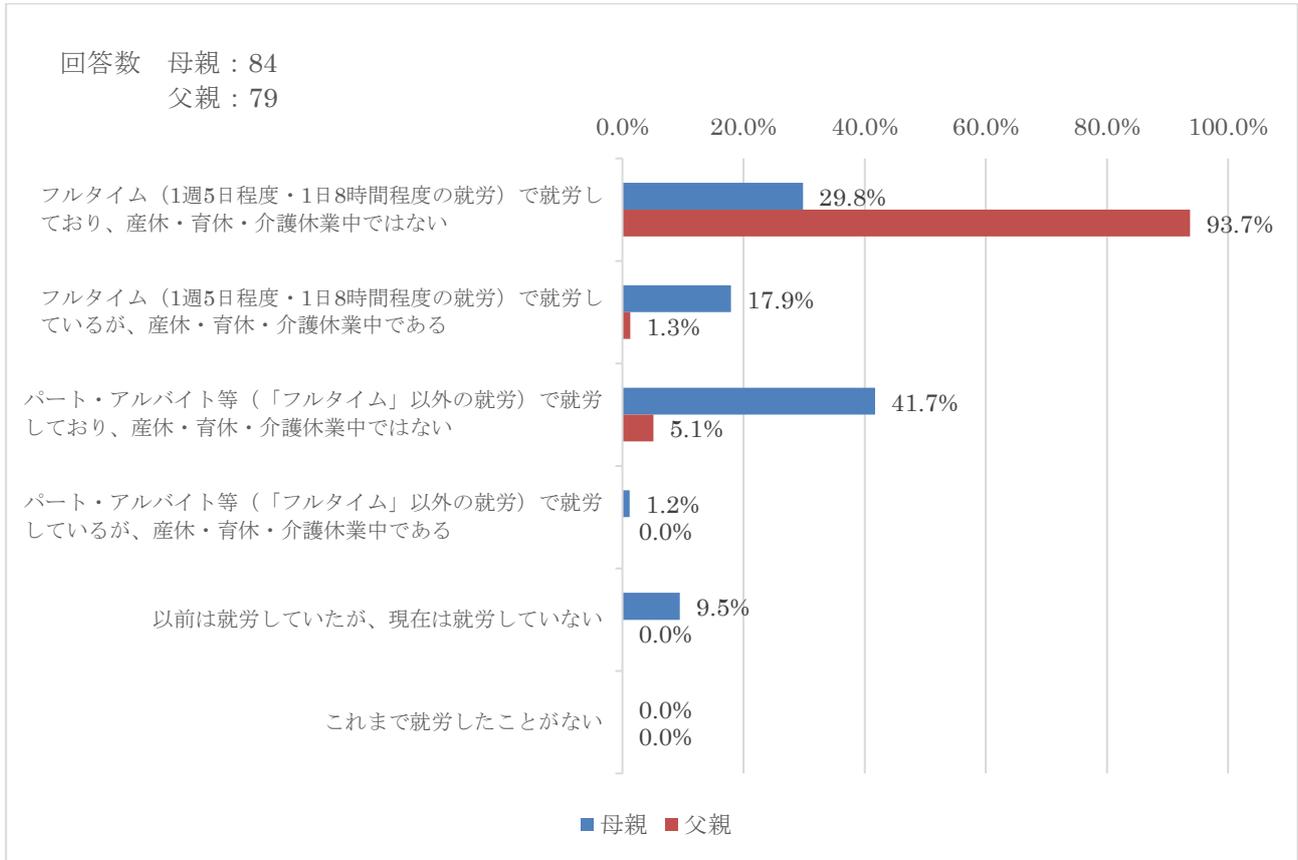
白馬の景観を守る、自然を大事にする気持ちを育ててほしい。コンポストやリサイクルを促す。地域で味噌作りや、郷土食体験など。

案内、ホームページを分かりやすくしてほしい。
- 行政からの金銭的な補助
- 病児保育の充実、休日保育の充実

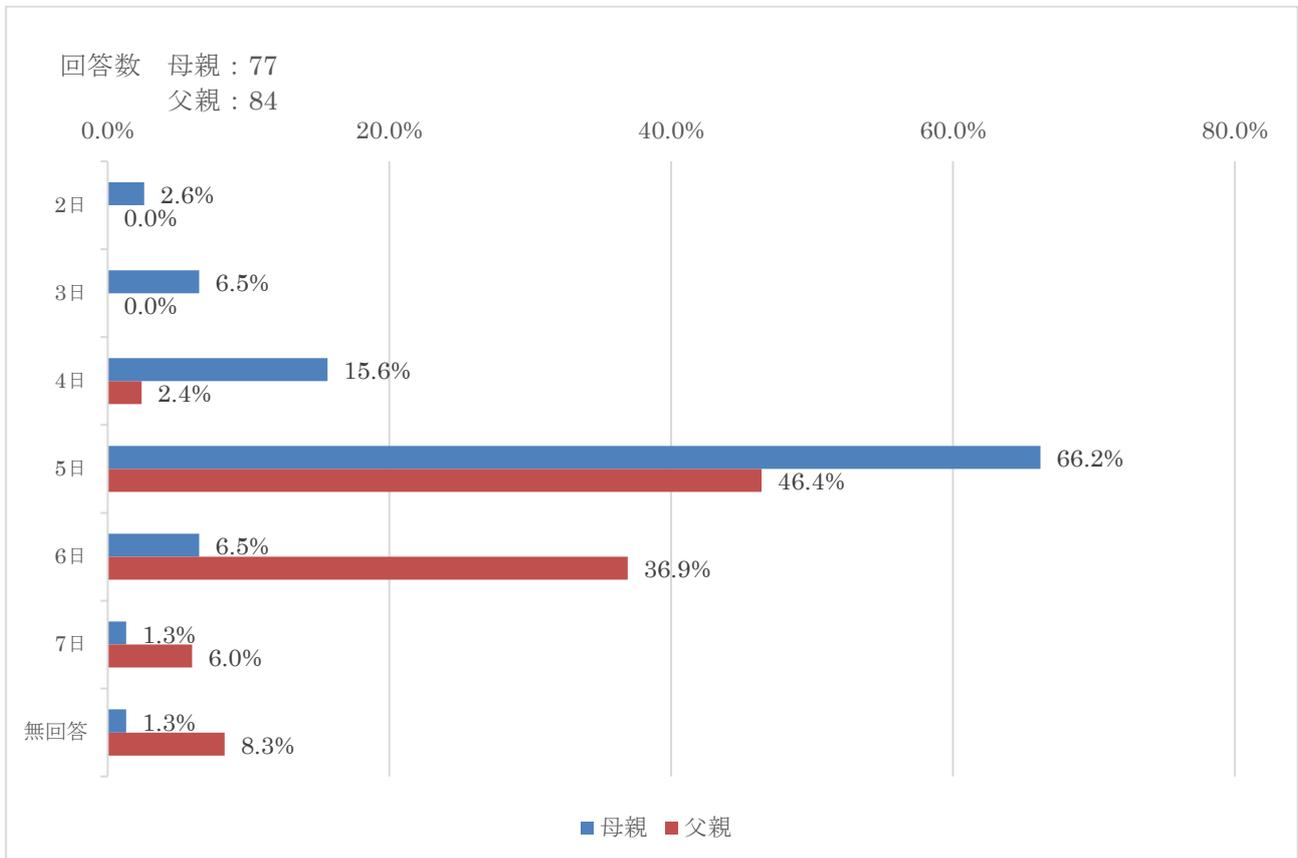
- 共働きがしやすい環境が欲しいです。白馬村はインバウンドと投資に目が行き過ぎていて、住んでいる人や、住みたい人への配慮が欠落している気がします。であるのに英語等の外国語サポートが少なく困ります。
- 母親も働きたいと思っているが、こどもがいると夏休みや冬休みなど働くことができず、そのことが就労に支障をきたしている。まとまった休みの期間、こどもをみてもらえる施設があるととても助かる。
- 病児保育が近くにないので、子供が保育園に行けない体調の際に大変さを感じる。一週間丸々登園出来ないとかもあり、近くに親等がない身としては仕事を長期で休まざるを得ない。病児保育を年 10 日利用無料などあれば、世帯収入が低い共働き家族にも利用しやすく、子育てと仕事を両立出来ると思う。
- 白馬村にはもっと子供の遊び場や、屋内や屋外のものがあるといいですね。外国人の方の言語コミュニケーションのサポートも重要です。
冬と夏の休暇は、白馬の村民(特に自営業の家族)が最も忙しい時期です。この時期の祝日には、通常、保育支援がなく、観光ビジネスをしている家族は非常に困っています。
白馬村は村民に提供する賃貸アパートが本当に少なく、土地や家の価格はますます高くなり、私たち家族は子供を連れて住む場所がないというジレンマに直面しています。
- 上の子の育休退園がしんどかったです。けど、支援ルームには助けられました。貴重な大変な時期を一緒にすごせて、いい時間だったのかもしれない。
- 第二子を希望していますが、上の子どもが未満児で親が産休育休を取得できる場合、保育園への継続、入所が困難と認識しています。長野市では待機児童減少傾向のため、その点緩和されているとかがっています。子育て世帯が安心して妊娠、出産できる環境が整ったらありがたいと思います。また、大自然に囲まれて育ていく子どもたちにはとても恵まれた自然環境ではありますが、夏季の間だけでも開放された遊具のある公園があったらいいなと思います。維持、管理等いろいろ課題はあるかと思いますが。
- 小学生、園児兄弟と一緒に、土日祝で預けられる場所が欲しい。急な仕事や用事の時、長時間祖母に預けられない時があるため。
- 白馬村に遊べる場所が少なすぎる。公園や、図書館、遊具や、雨の日に過ごせる施設。人としての個人的なサポートはもちろん大切ですが、日常として子供が没頭する時間を作り出せる施設(サポート)があると助かります。民間が行っているサマーキャンプなどは、都心から離れた所で学ぶことを目的としています。同じように白馬村在住でも学べる事は沢山あるとおもいますので、その様な教育があると、白馬村に住む事に意味も大きくなるのかなと思います。ビジネス的に外側に目を向けることも多いと思いますが、白馬に住む子どもたちの心を育むプログラムを村主導、もしくは民間にお願いしてやっていくのもよいかと思います！

保護者の就労状況に関する質問

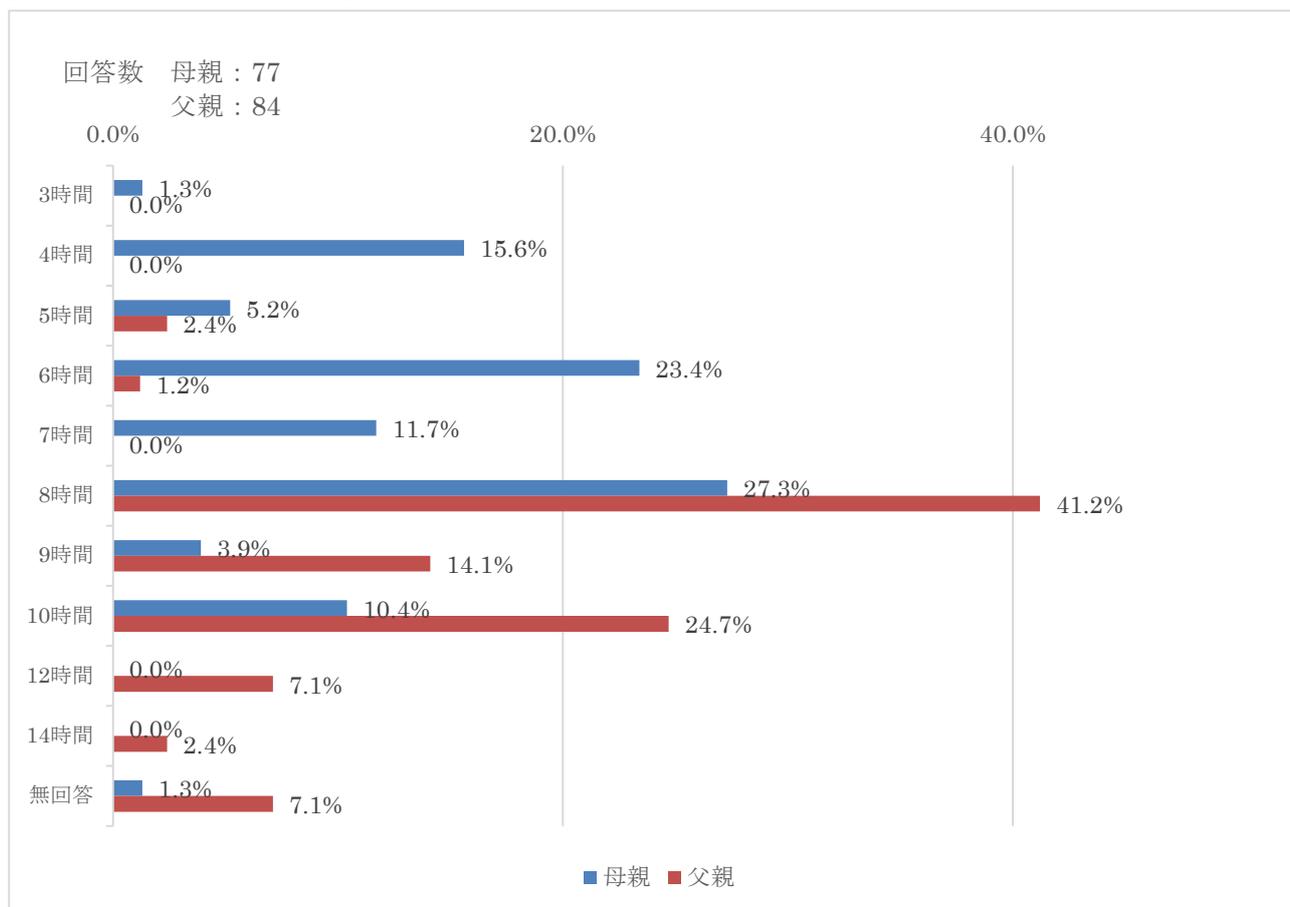
問 14 お子さんの保護者の現在の就労状況について



問 14-1 1週当たりの就労日数について

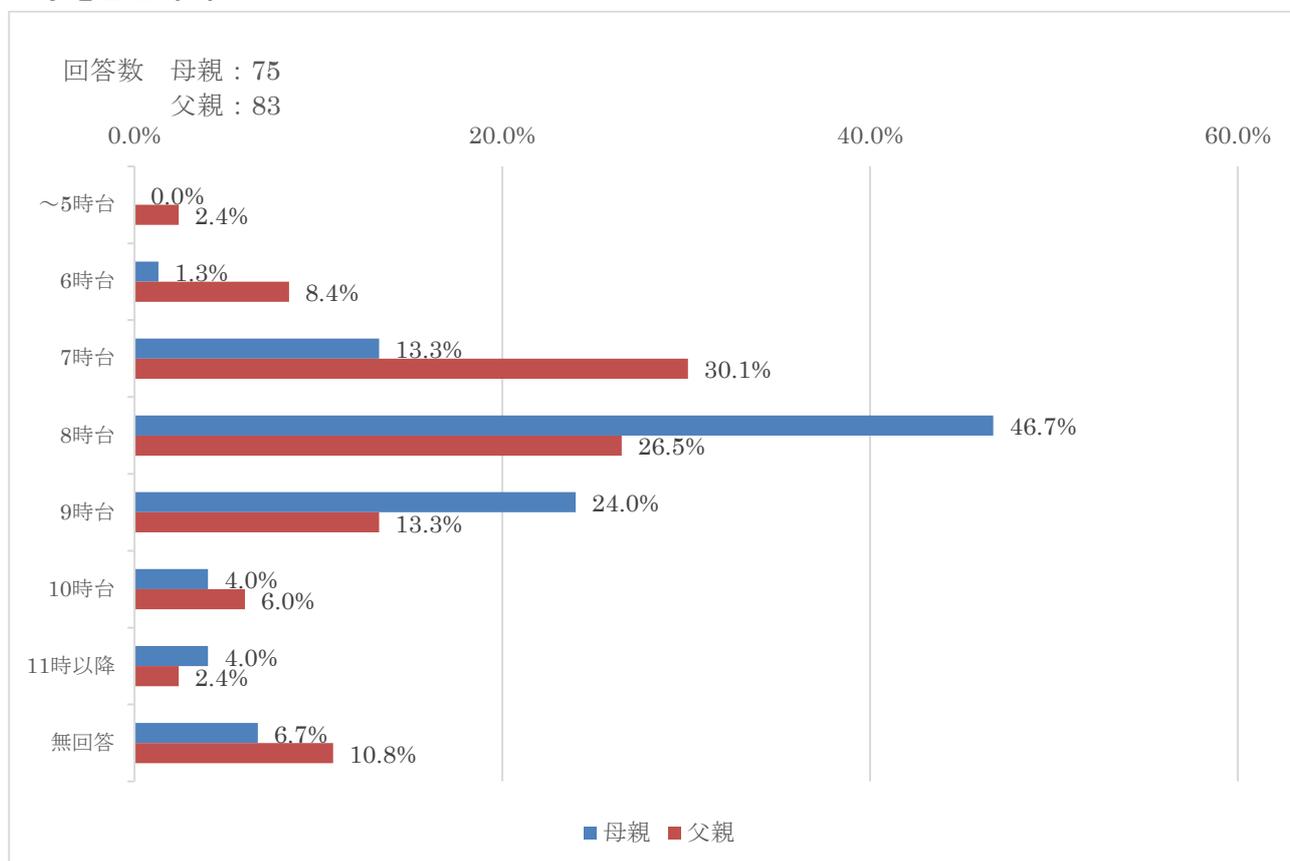


問 14-2 1日当たりの就労時間について

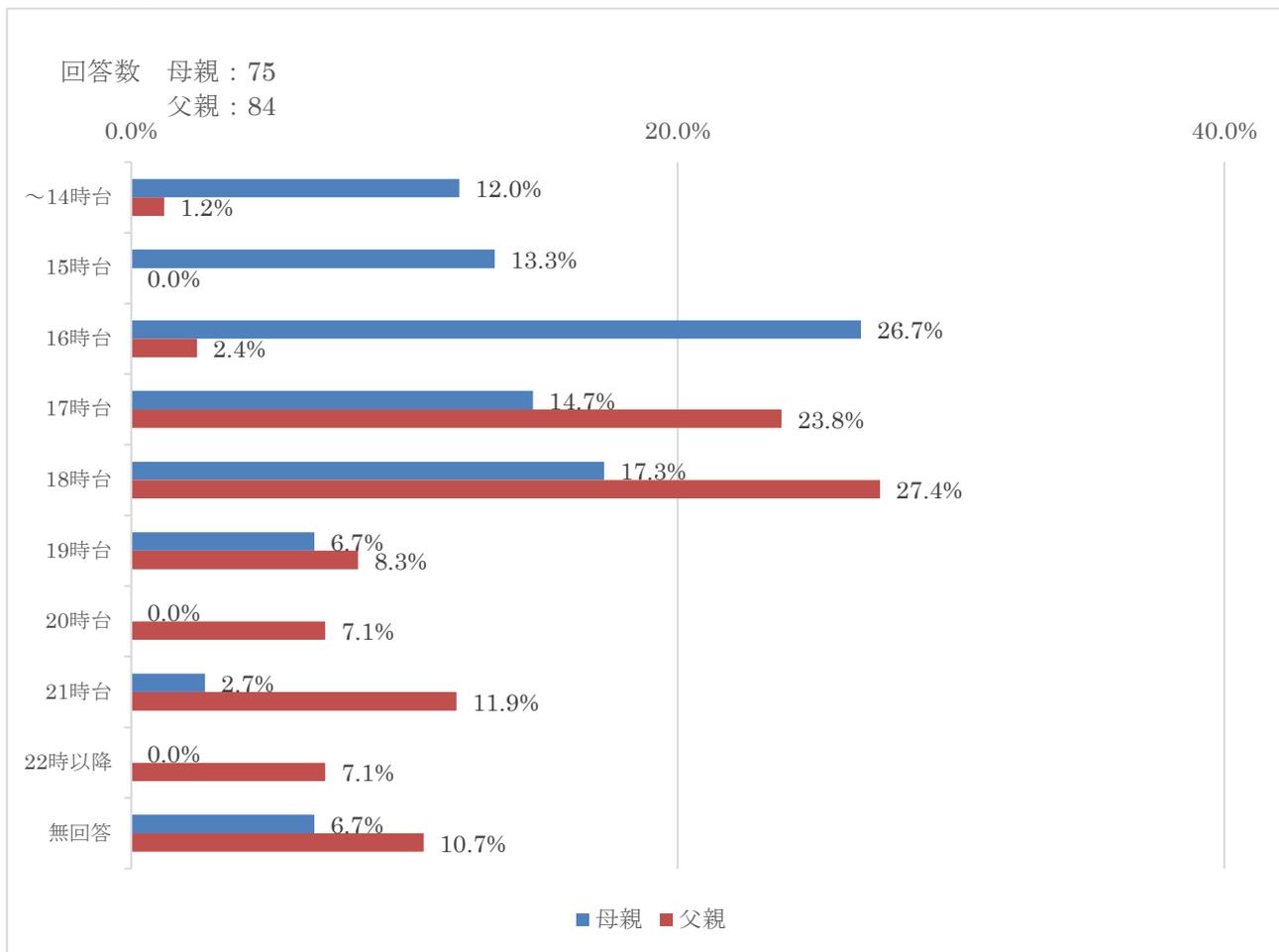


問 14-3,4 【問 14 で就労していると回答した方】の家を出る時刻と帰宅時刻

家を出る時刻



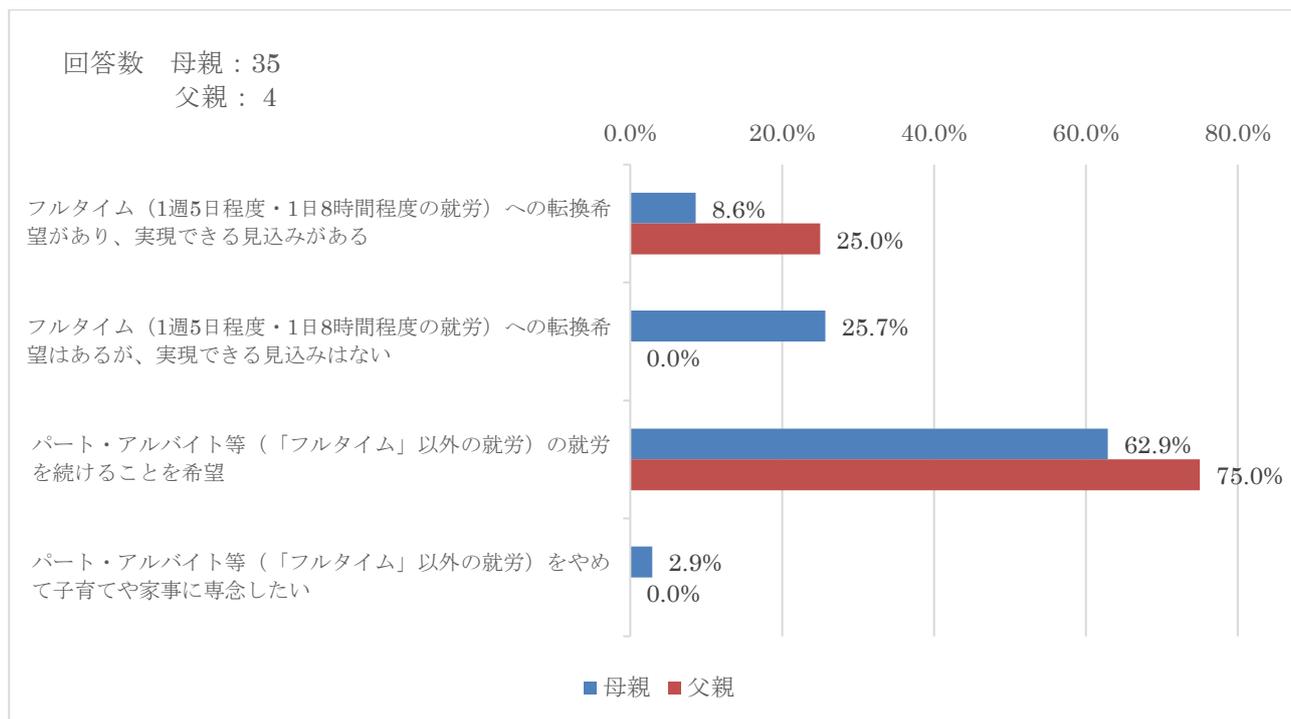
帰宅時刻



母親では、就労中（産休・育休・介護休業中含む）が全体の90.6%をしめている。週当たりの就労日数は5日（66.2%）が一番多く、1日当たりの就労時間は8時間台（27.3%）、6時間台（23.4%）が多くなっている。家を出る時刻は8時台（46.7%）、帰宅時間は16時台（26.7%）が最も多い。

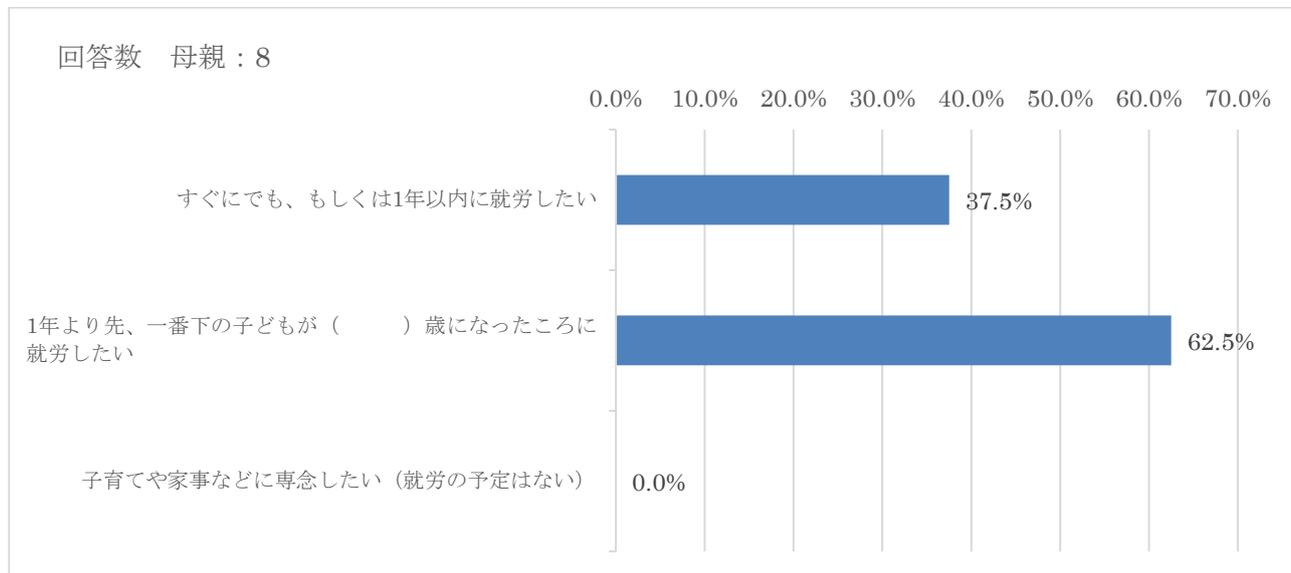
父親では就労中が100%となっている。週当たりの就労日数は5日（46.4%）が一番多く、1日当たりの就労時間は8時間台（41.2%）と多くなっている。家を出る時刻は午前7時（30.1%）、帰宅時間は午後6時（27.4%）が最も多い。

問 14-5 【問 14 でパート・アルバイト等で就労していると回答した方】のフルタイムへの転換希望について



母親・父親ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が一番多い。

問 14-6 【問 14 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方】の就労希望について



1年より先、「一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」の回答の〇〇歳について

区分	回答数	割合
2歳	3	60.0%
3歳	2	40.0%
合計	5	100.0%

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方について

問 14-7 希望する就労体系

区分	回答数	割合
フルタイム	0	0
アルバイト	3	100.0%
合計	3	100.0%

問 14-8 1週当たり何日就労したいか

区分	回答数	割合
2日	1	33.3%
5日	2	66.6%
合計	5	100.0%

問 14-9 1日当たり何時間就労したいか

区分	回答数	割合
4時間	1	33.3%
5時間	1	33.3%
6時間	1	33.3%
合計	3	100.0%

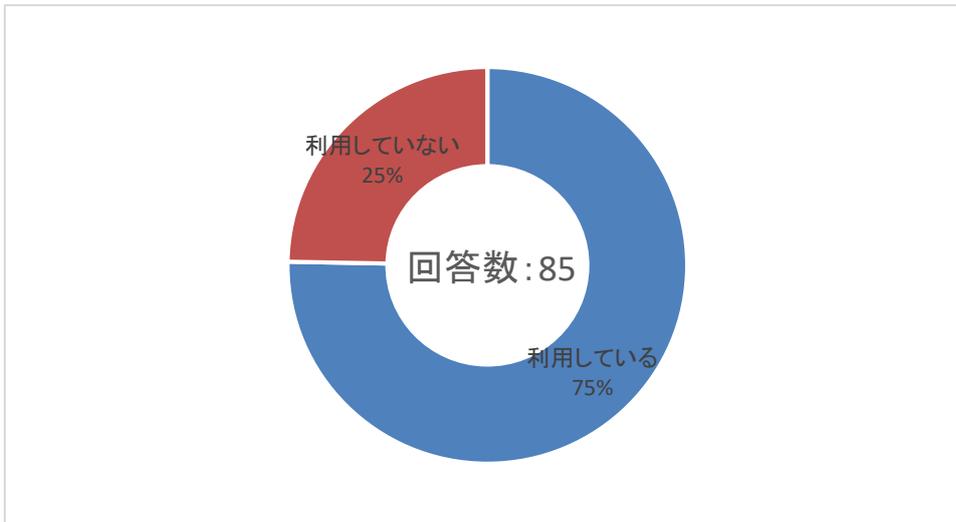
回答したすべての方が就労を希望している。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態はアルバイト。

※父親は該当者なし。

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況に関する質問

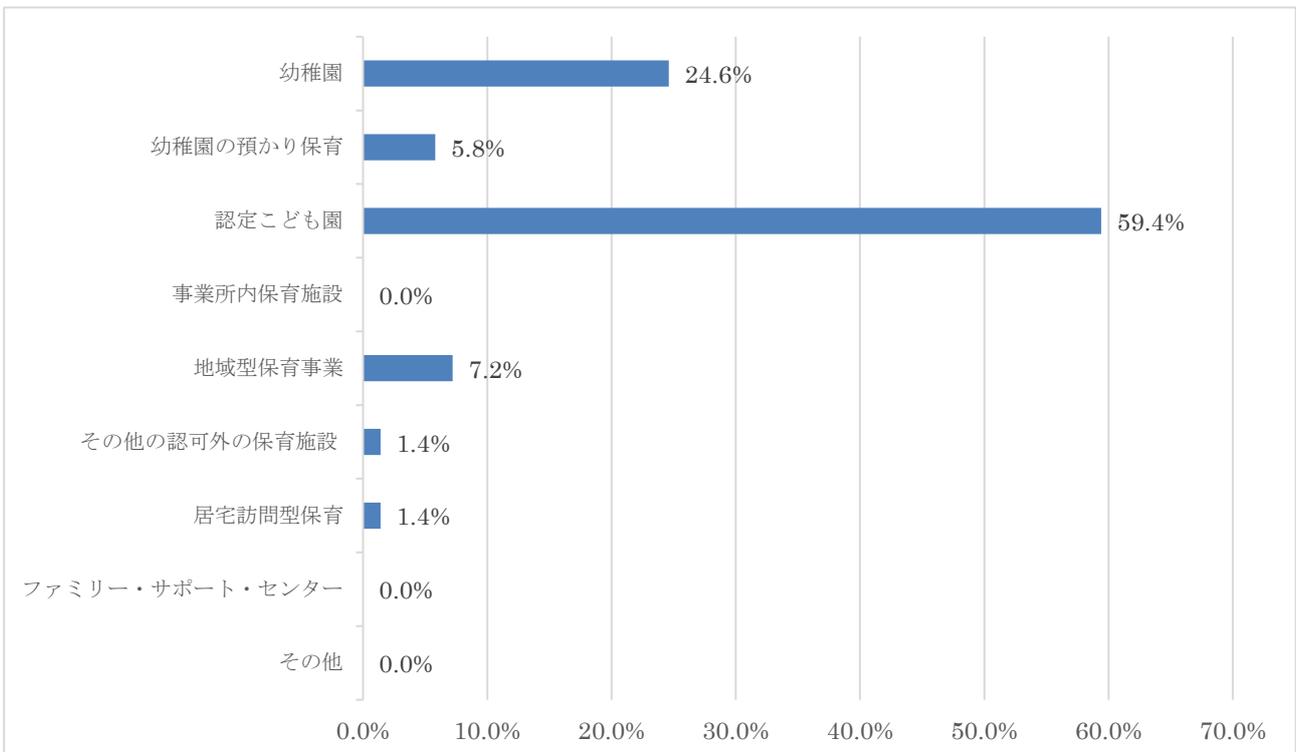
問 15 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用について



「利用している」が 75.0%となっている。

問 15-1 から問 15-4 は、問 15 で「利用している」と回答した方への質問

問 15-1 平日の教育・保育の事業の年間を通じた定期的な利用について（重複回答）

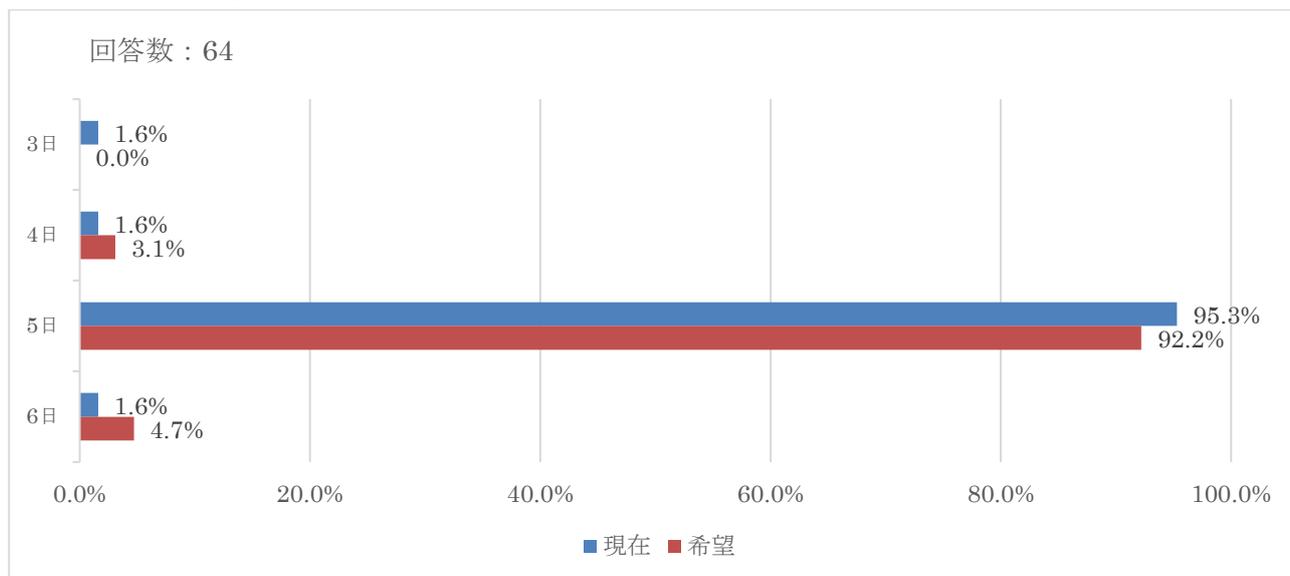


認可こども園が 59.4%、幼稚園が 24.6%の順となっている。

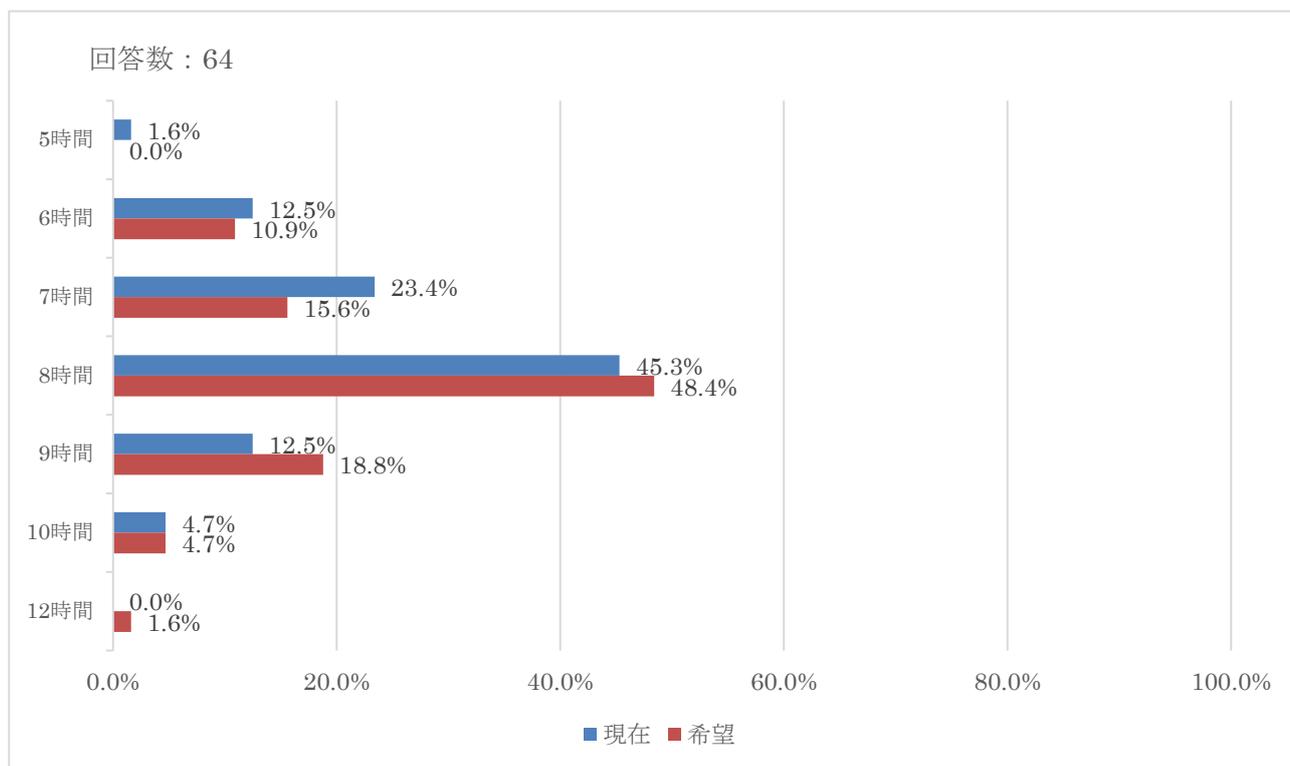
幼稚園の預かり保育と他の事業を利用している方（対象者数：1）は、「特に幼稚園の利用を強く希望するか」との問いにはいと答えた。

問 15-2,3 問 15-1 の事業の現在の利用状況と希望について

1 週当たりの利用日数

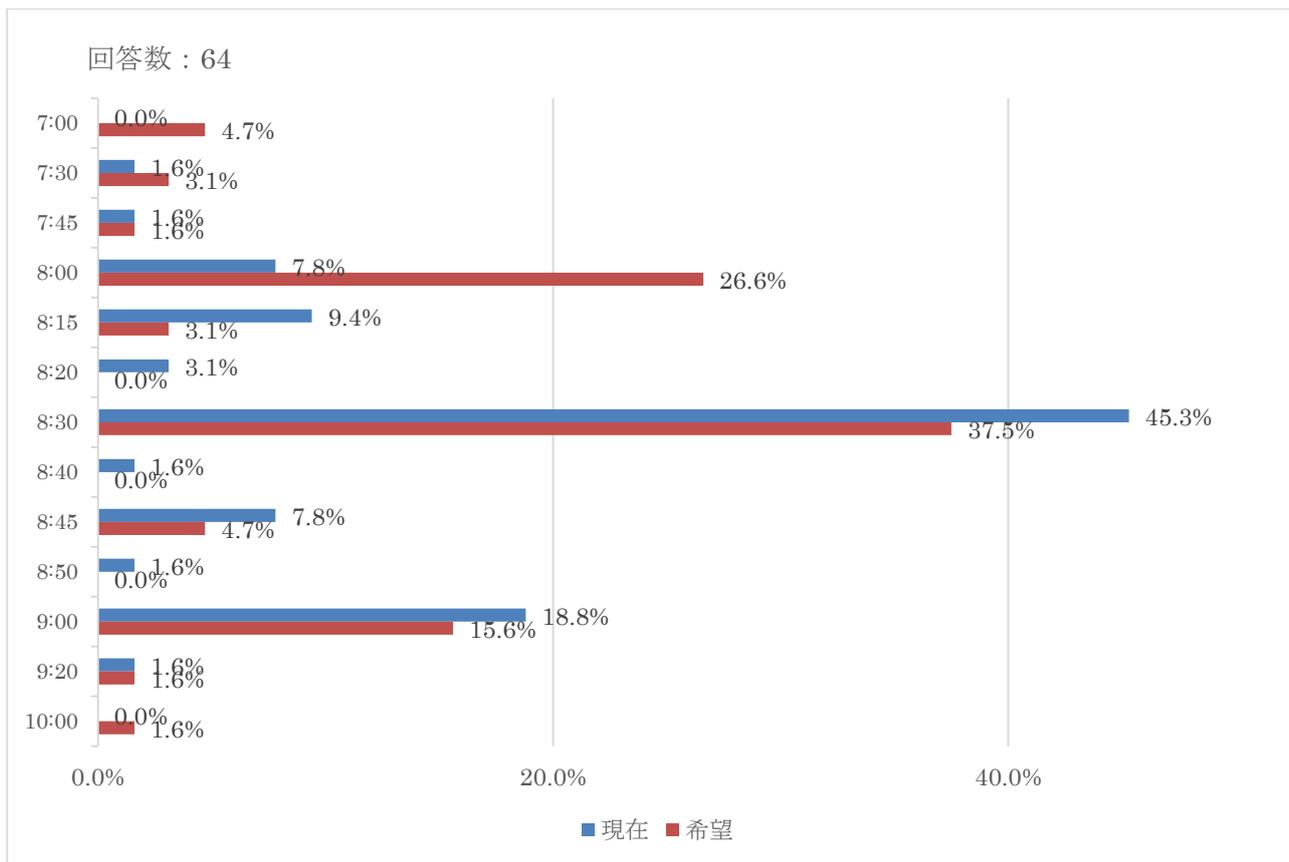


1 日当たりの利用時間

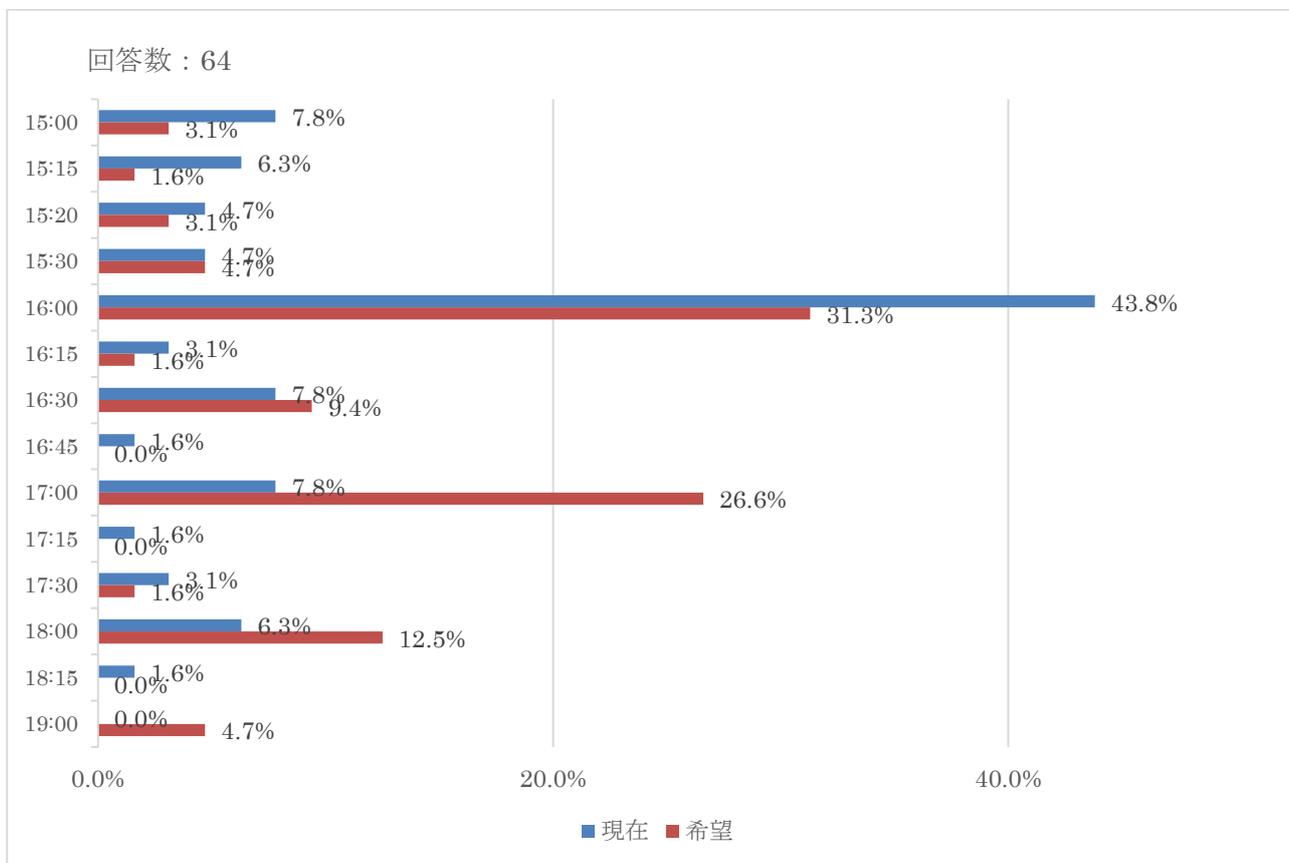


1 週間当たりの利用日数は現在では5日が 95.3%となっており、希望する利用日数でも5日が 92.2%と一番多いが、6日希望が 4.7%ある。1 日当たりの利用時間は現在8時間が多く、希望もほぼ同様ではあるが、全体的に現在より少し多い時間を希望している。

利用開始時間

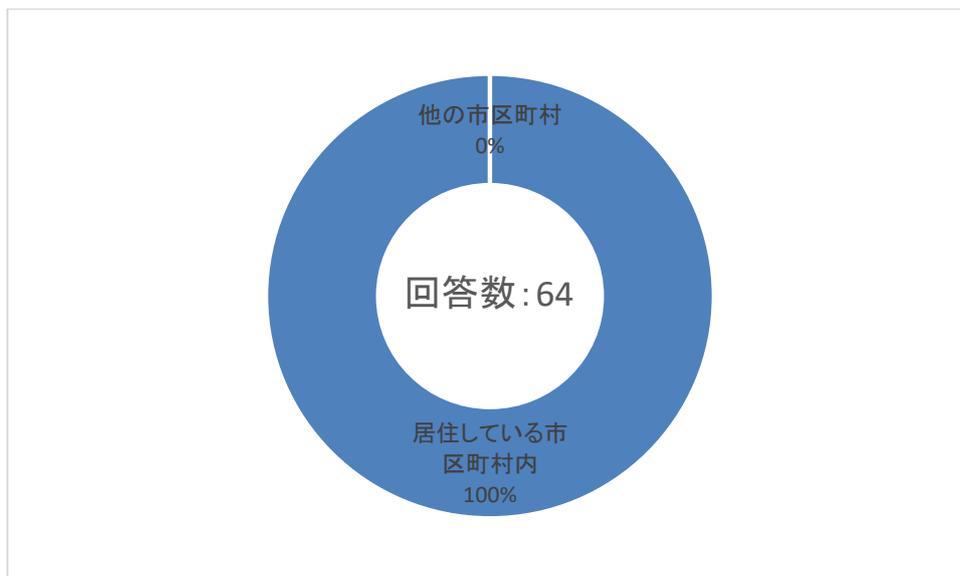


利用終了時間



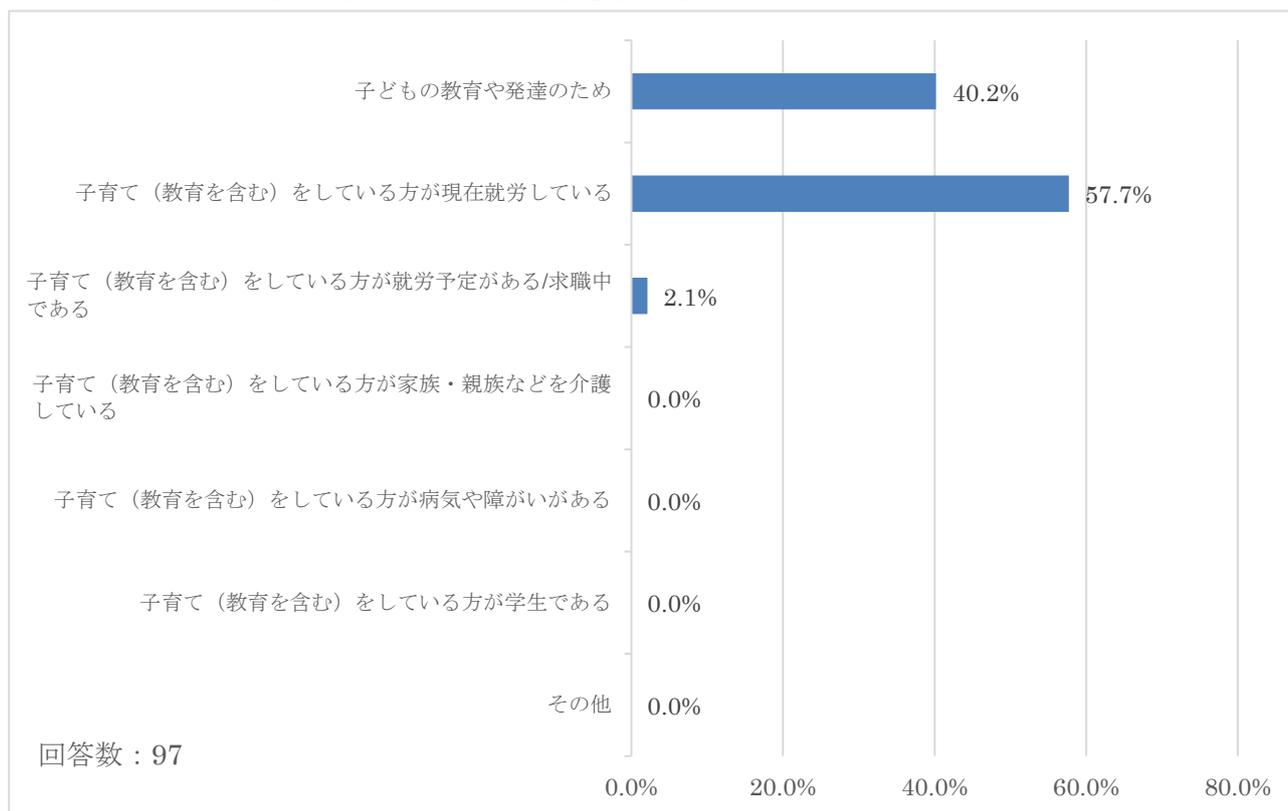
開始時間は、現在も希望も午前8時30分が一番多いが、30分早い8時の希望も多い。終了時間は現在も希望も午後4時が一番多いが、30分遅い17時の希望も多い。

問 15-4 現在利用している教育・保育事業の実施場所について



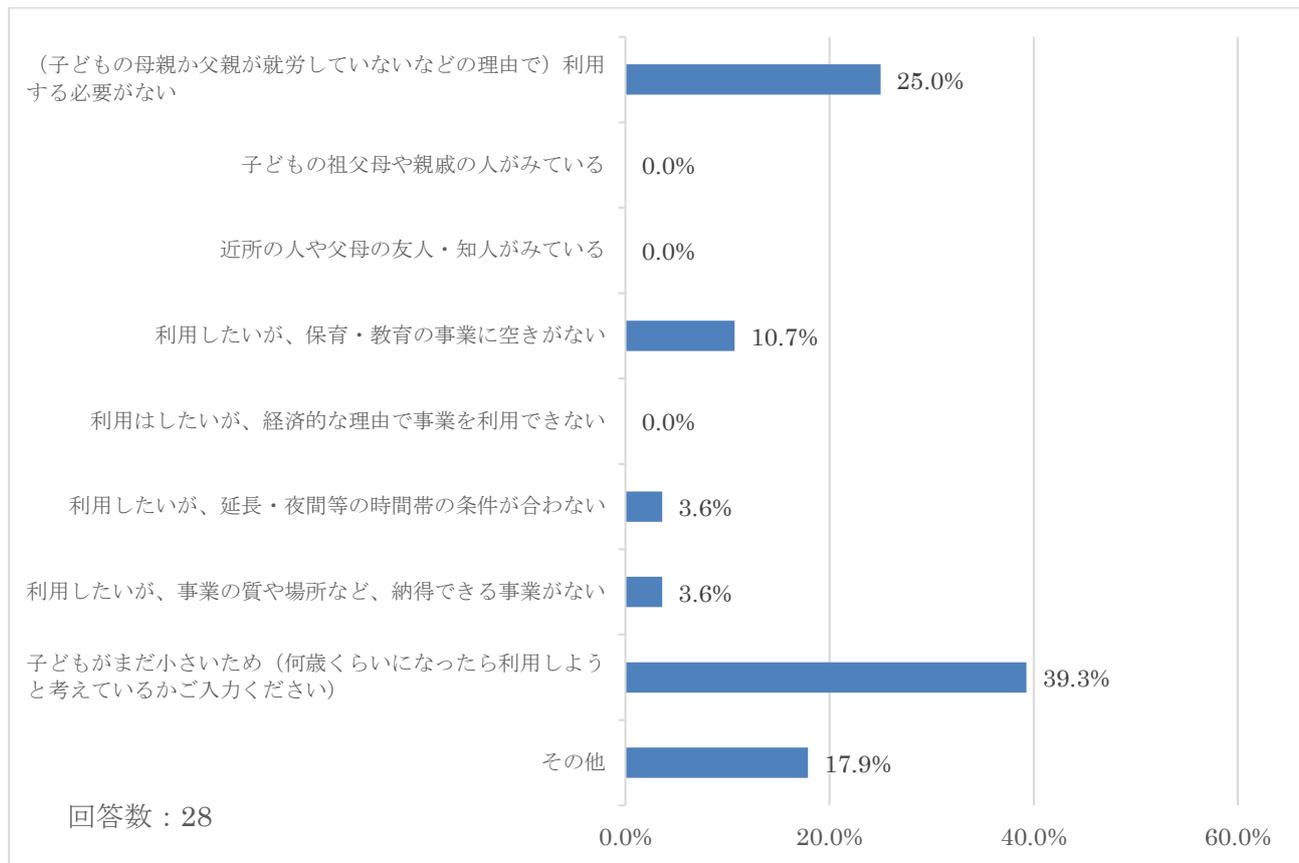
「居住している市区町村内」が100%となっている。

問 15-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について（重複回答）



「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が57.7%で一番多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が40.2%となっている。

問 15-5 【問 15 で「利用していない」と回答した方】の事業を利用していない理由について（重複回答）

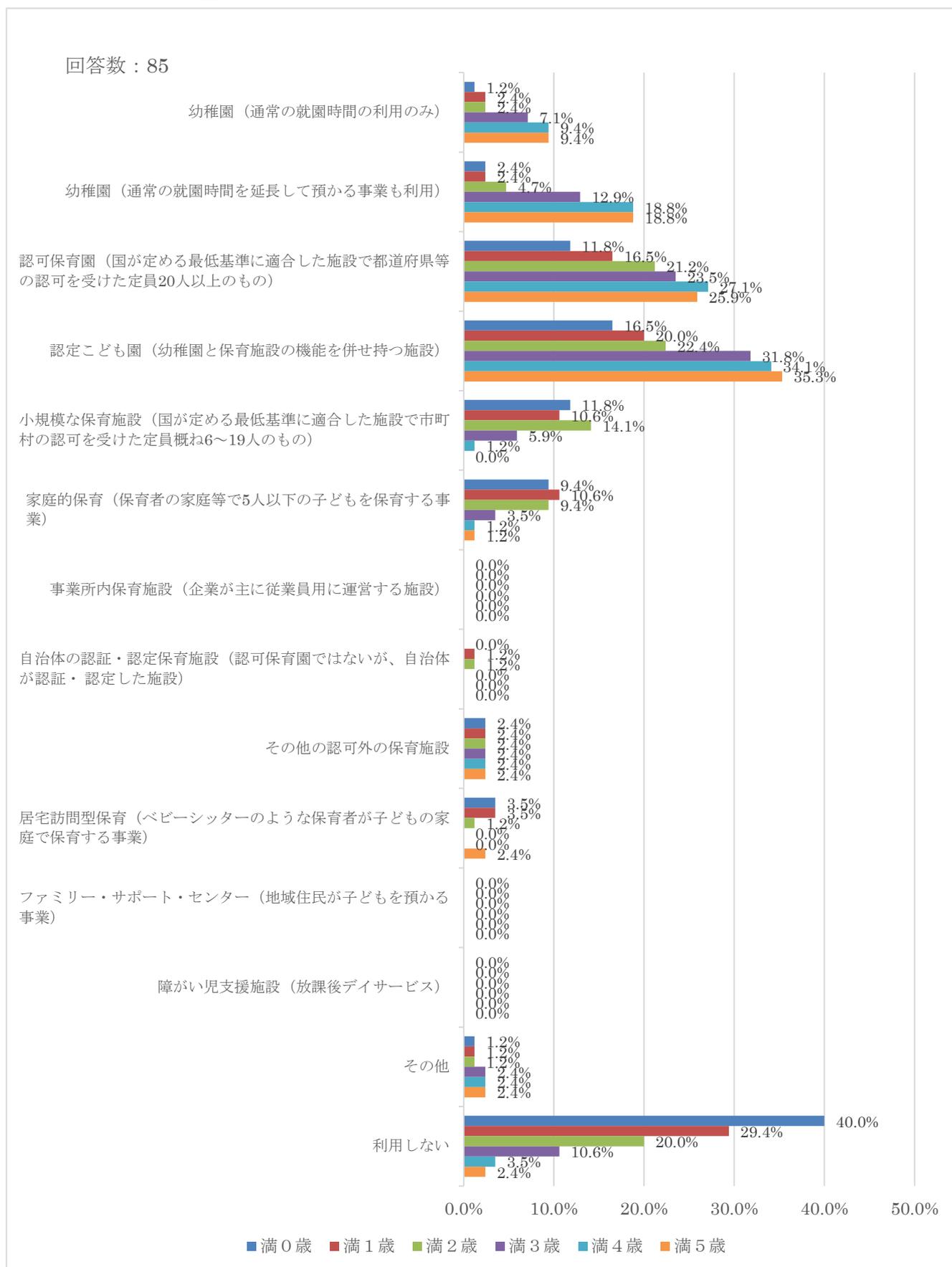


子どもがまだ小さいためと回答した方が（ ）歳くらいで利用したいと考えているか。

年齢	回答数	割合
1歳	5	45.5%
2歳	4	36.4%
3歳	2	18.2%
合計	11	100.0%

利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が39.3%で一番多く、次いで「利用する必要がない」が25.0%となっている。子どもが何歳になったら利用したいかとの質問には1歳（45.5%）、次いで2歳（36.4%）と多かった。

問 16 現在の利用の有無にかかわらず平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業について（重複回答）



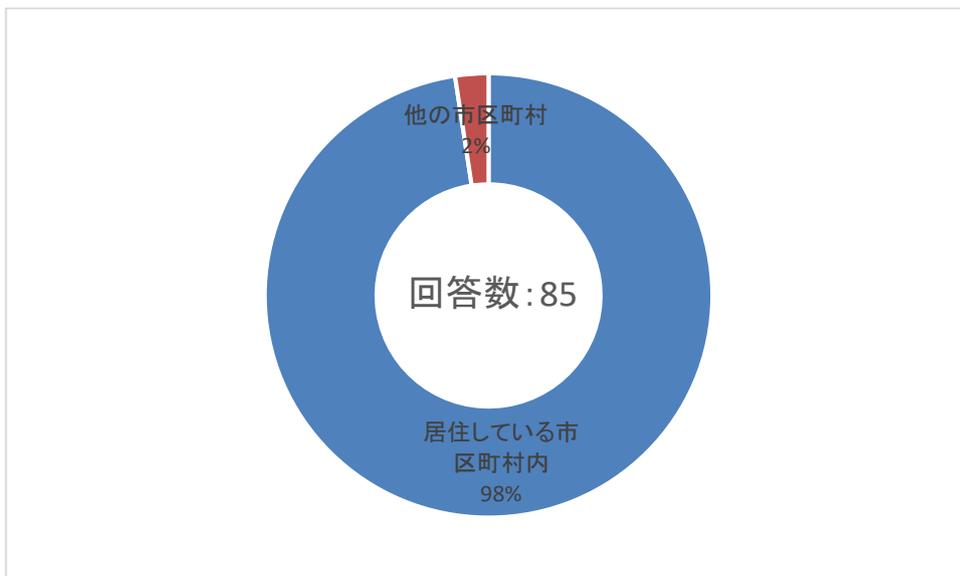
歳を重ねるごとに利用希望が増えている。

問 16 「特定の園に入園したい」などの希望はありますか。



半々で分かれた。

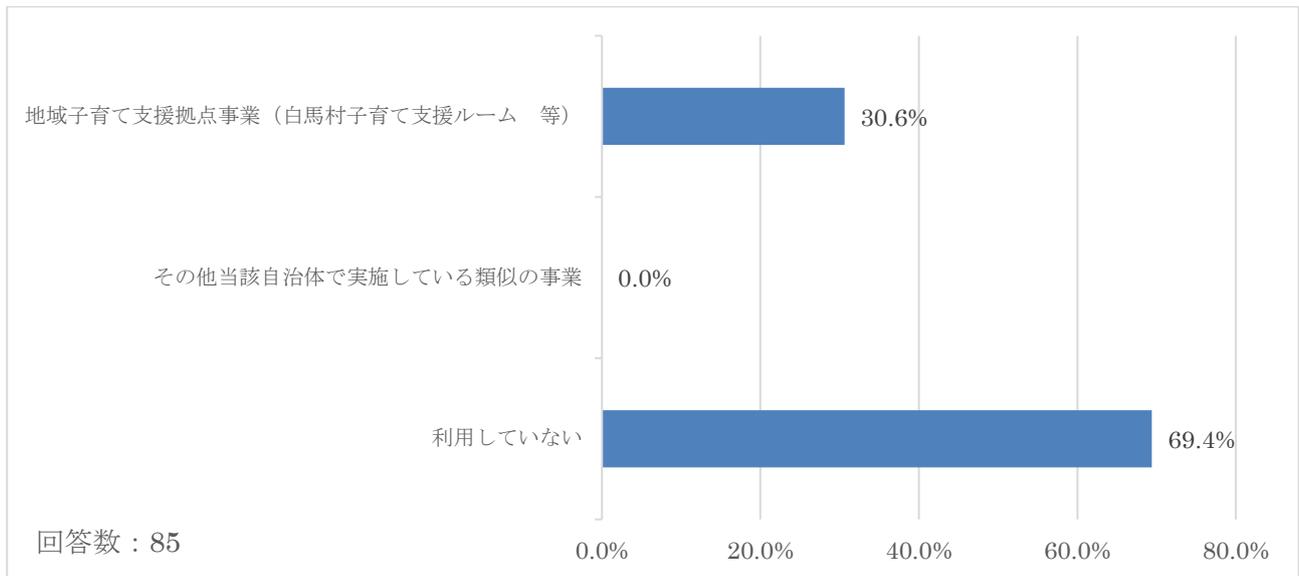
問 17 教育・保育事業を利用したい場所について



「居住している市区町村内」が98.0%となっている。

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況に関する質問

問 18 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

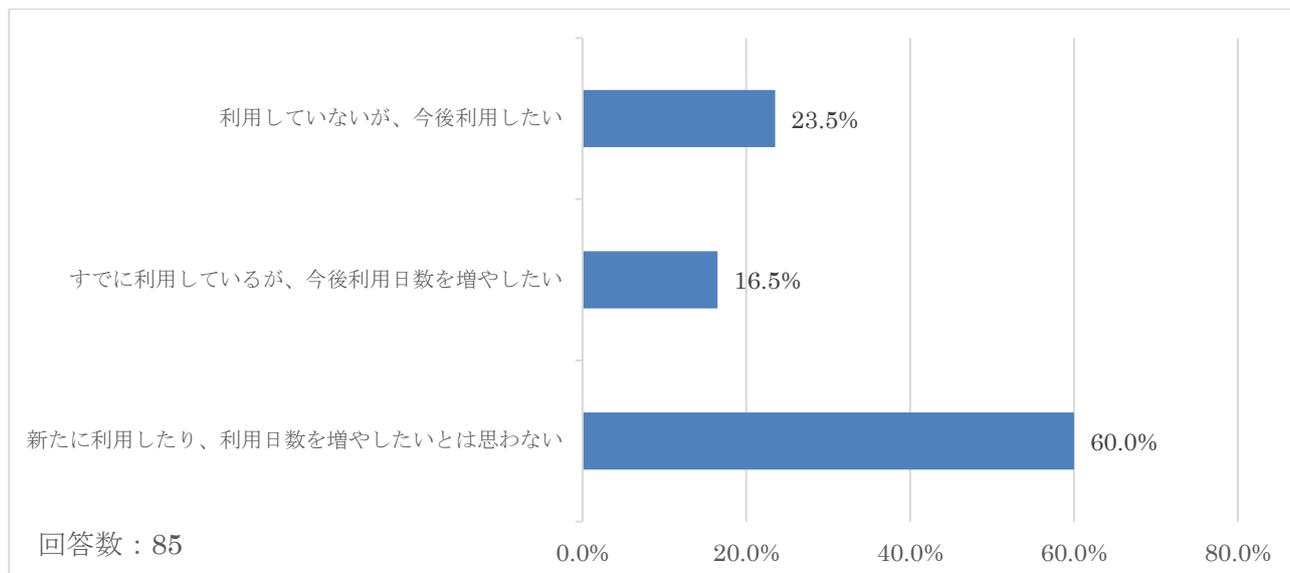


白馬村子育て支援ルーム等の利用回数

区分	回数	回答数	割合
1週間当たり	1回	3	12.0%
	2回	2	8.0%
	3回	3	12.0%
	4回	1	4.0%
	5回	2	8.0%
1か月当たり	1回	6	24.0%
	2回	1	4.0%
	3回	3	12.0%
	4回	1	4.0%
1年当たり	2回	1	4.0%
	4回	2	8.0%
合計		54	100.0%

30.6%が地域子育て支援拠点事業を利用している。また、利用回数は「1か月当たり1回」が24.0%で一番多い。

問 19 地域子育て支援拠点事業の今後の利用について



利用していないが、今後利用したい

利用回数	回答数	割合
1週間当たり 1回	5	27.8%
3回	4	22.2%
5回	1	5.6%
1か月当たり 1回	3	16.7%
2回	2	11.1%
4回	2	11.1%
5回	1	5.6%
合計	18	100.0%

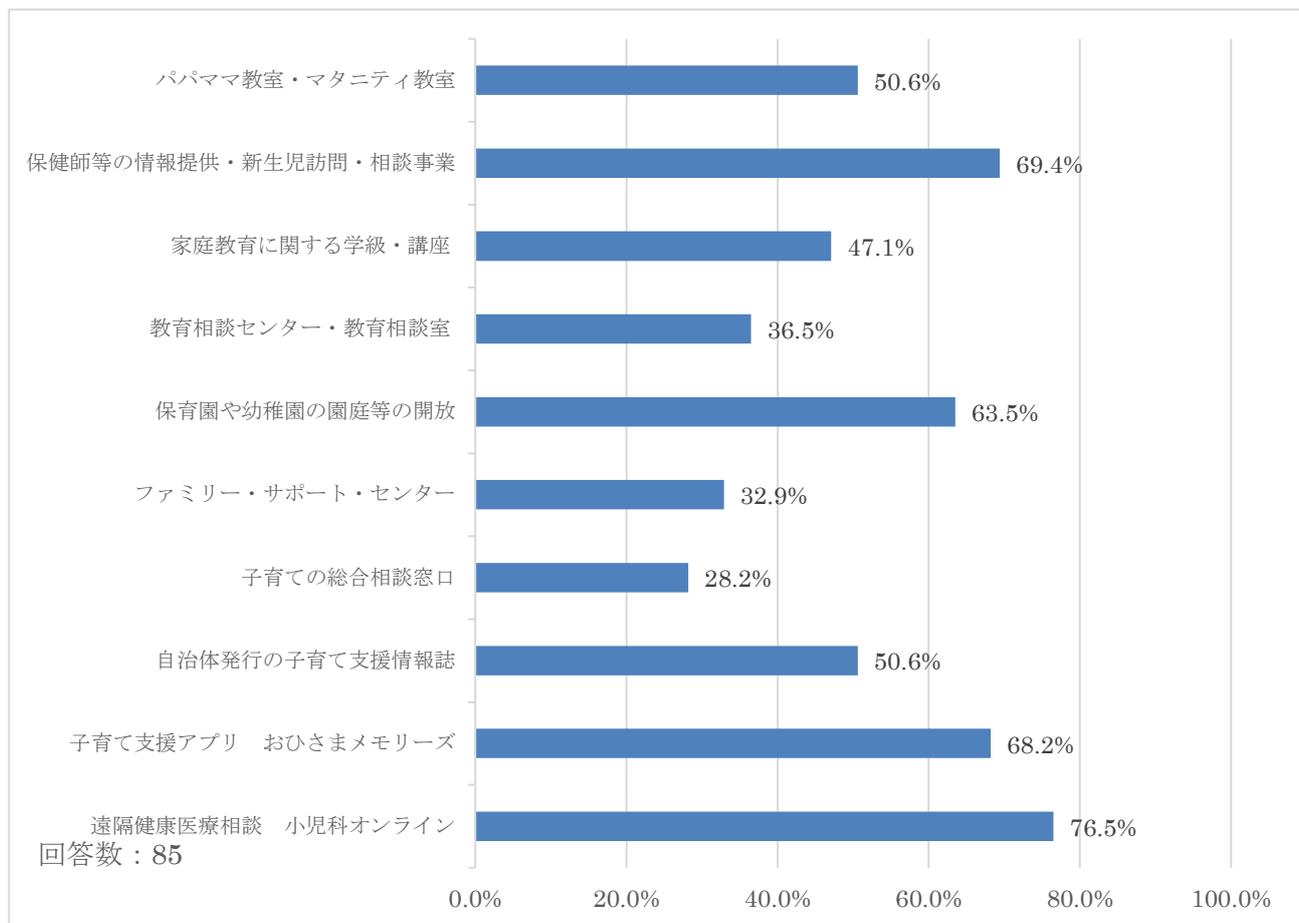
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

利用回数	回答数	割合
1週間当たり 2回	4	40.0%
3回	1	10.0%
5回	1	10.0%
1か月当たり 1回	1	10.0%
2回	2	20.0%
4回	1	10.0%
合計	10	100.0%

「利用していないが、今後は利用したい」が23.5%あり、その利用回数では「1週間当たり1回」が27.8%で多かった。また「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が16.5%で、その利用回数は「1週間当たり2回」が40.0%で一番多い。

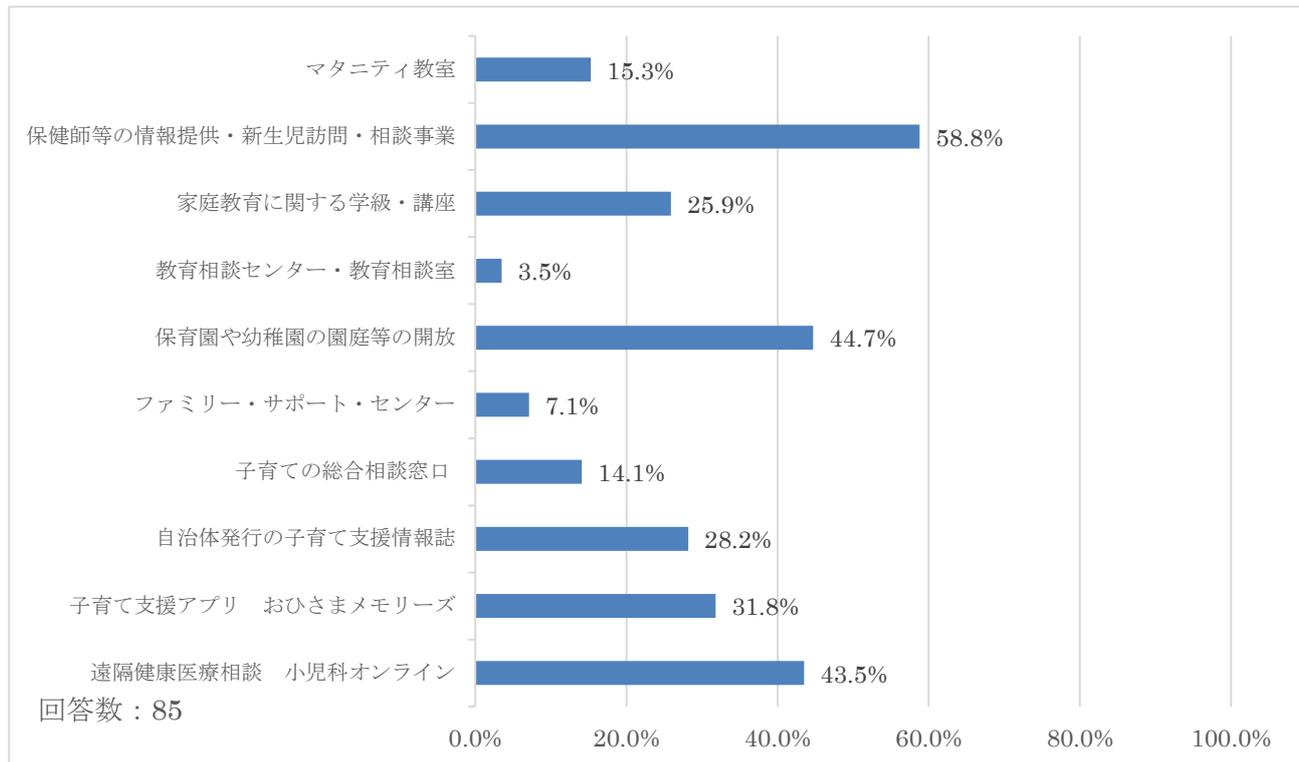
問 20 次の事業について

A 認知状況



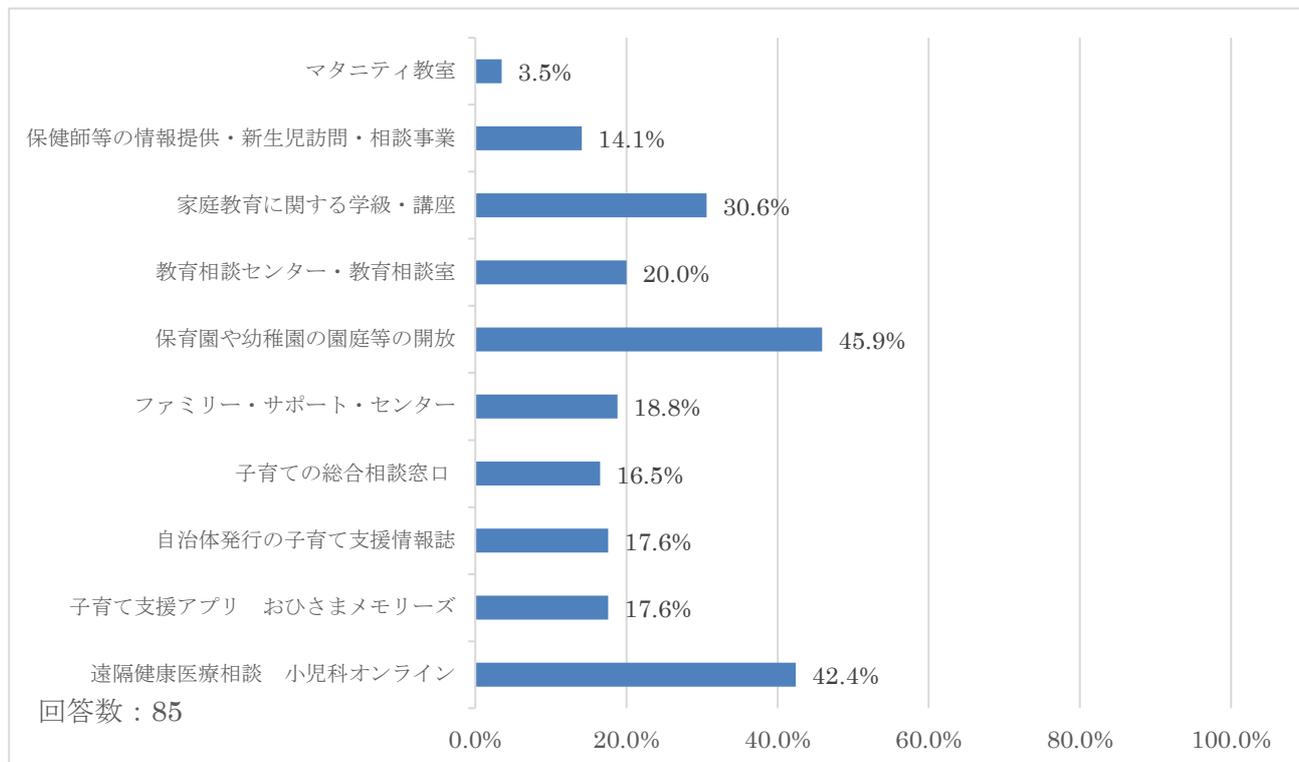
「遠隔健康医療相談 小児科オンライン」が76.5%と最も多い。次いで、「保健師等の情報提供・新生児訪問・相談事業」が69.4%、「子育て支援アプリ おひさまメモリーズ」が68.2%となっている。

B 利用状況



「保健師等の情報提供・新生児訪問・相談事業」が最も多く 58.8%となっている。続いて、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 44.7%、「遠隔健康医療相談 小児科オンライン」が 43.5%となっている。

C 利用意向



「保育園や幼稚園等の園庭等の開放」が最も多く、45.9%となっている。次いで、「遠隔健康医療相談 小児科オンライン」が 42.4%と多くなっている。

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望に関する質問

問 21 土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

土曜日

区分	回答数	割合
利用する必要はない	52	61.2%
ほぼ毎週利用したい	8	9.4%
月に1～2回は利用したい	25	29.4%
合計	85	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時から

区分	回答数	割合
8:00	2	25.0%
8:30	3	37.5%
9:00	1	12.5%
10:00	1	12.5%
12:00	1	12.5%
合計	8	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
16:30	1	12.5%
17:00	2	25.0%
18:00	2	25.0%
19:00	2	25.0%
20:00	1	12.5%
合計	8	100.0%

月に1～2回利用したい 何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	4.0%
7:30	2	8.0%
7:45	1	4.0%
8:00	3	12.0%
8:30	4	16.0%
9:00	11	44.0%
10:00	2	8.0%
無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%

月に1～2回利用したい 何時から

区分	回答数	割合
15:00	4	16.0%
16:00	8	32.0%
16:30	3	12.0%
17:00	3	12.0%
17:30	2	8.0%
18:00	2	8.0%
18:30	1	4.0%
19:00	1	4.0%
無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%

(2) 日曜・祝日

区分	回答数	割合
利用する必要はない	64	75.3%
ほぼ毎週利用したい	3	3.5%
月に1~2回は利用したい	18	21.2%
合計	85	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時から

区分	回答数	割合
8:00	1	33.3%
10:00	1	33.3%
12:00	1	33.3%
合計	3	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
17:00	1	33.3%
18:00	1	33.3%
20:00	1	33.3%
合計	1	100.0%

月に1~2回は利用したい 何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	5.6%
7:30	2	11.1%
8:00	3	16.7%
8:30	3	16.7%
9:00	5	27.8%
10:00	1	5.6%
その他	3	16.7%
合計	18	100.0%

月に1~2回は利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
15:00	2	11.1%
16:00	3	16.7%
16:30	3	16.7%
17:00	1	5.6%
17:30	1	5.6%
18:00	2	11.1%
19:00	3	16.7%
その他	3	16.7%
合計	41	100.0%

土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」が8名(9.4%)で一番多い。また、「月に1~2回は利用したい」が25名(29.4%)で一番多い。

日曜・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」が3名(3.6%)で一番多い。また、「月に1~2回は利用したい」が18名(21.2%)で一番多い。

問22 【問21で「月に1~2回は利用したい」と回答した方】のその理由について(重複回答)

区分	回答数	割合
月に数回仕事が入るため	25	61.0%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	7	17.1%
親族の介護や手伝いが必要なため	1	2.4%
息抜きのため	5	12.2%
その他	3	7.3%
合計	41	100.0%

「月に数回仕事が入るため」が61.0%で一番多い。

問 23 【幼稚園を利用されている方】の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について

区分	回答数	割合
利用する必要はない	4	22.2%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	2	11.1%
休みの期間中、週に数日利用したい	12	66.7%
合計	18	100.0%

ほぼ毎日、または週に数日利用したい回答者の利用希望時間

何時から

区分	回答数	割合
8:30	2	14.3%
9:00	9	64.3%
10:00	1	7.1%
その他	2	14.3%
合計	14	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
13:00	1	7.1%
15:00	5	35.7%
15:30	1	7.1%
16:00	3	21.4%
17:00	2	14.3%
その他	2	7.1%
合計	14	100.0%

「休み期間中、ほぼ毎日利用したい」が 11.1%、「休み期間中、週に数回利用したい」が 66.7%、利用希望時間は午前 9 時から午後 3 時までが多い。

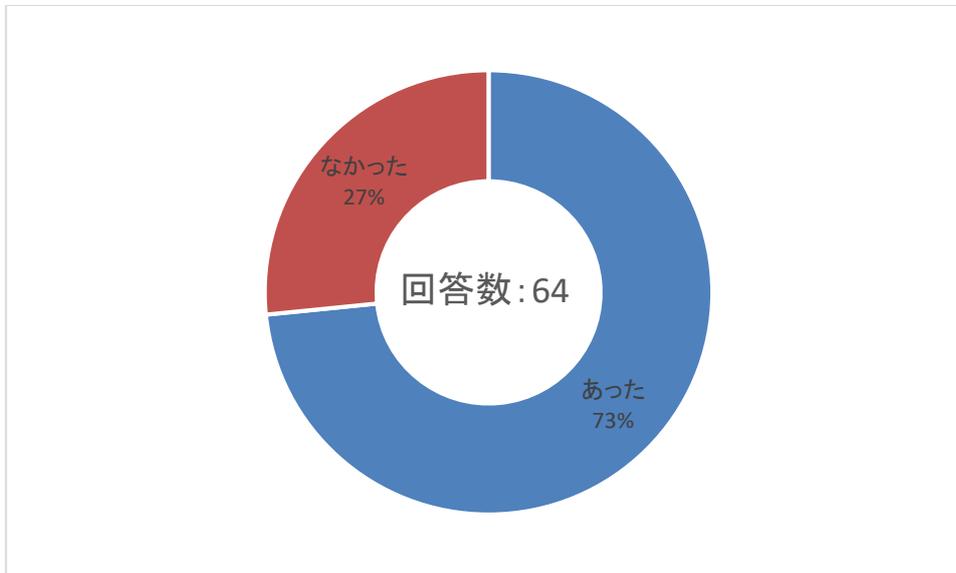
問 23-1 【問 23 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
週に数回仕事が入るため	8	50.0%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	3	18.8%
親等親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0%
息抜きのため	3	18.8%
その他	2	12.5%
合計	16	100.0%

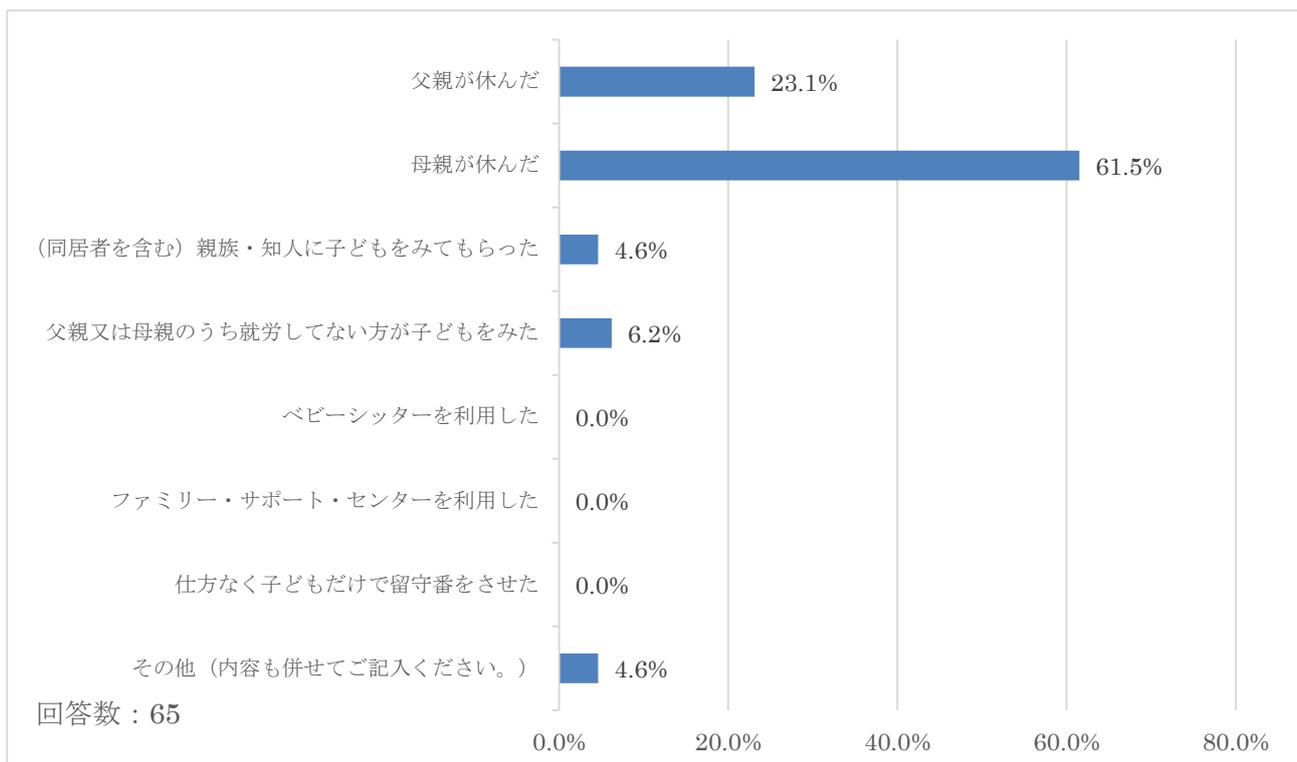
8 名の回答で、「週に数回仕事が入るため」が 50.0%で一番多い。

お子さんの病気の際の対応に関する質問（平日の教育・保育を利用する方のみ）

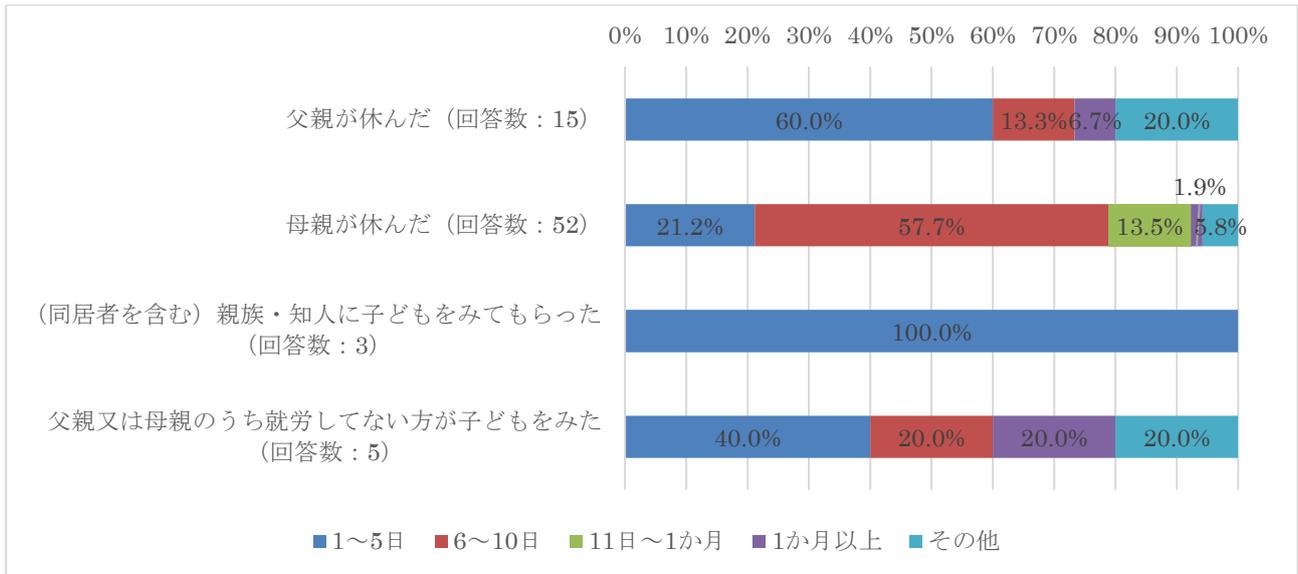
問 24 幼稚園・保育園等を利用している方で、この1年間でこどもの病気等で利用できなかったことがあったか



問 24-1 【問 24 で「あった」と回答した方】のこの1年間に行った対処方法について（重複回答）



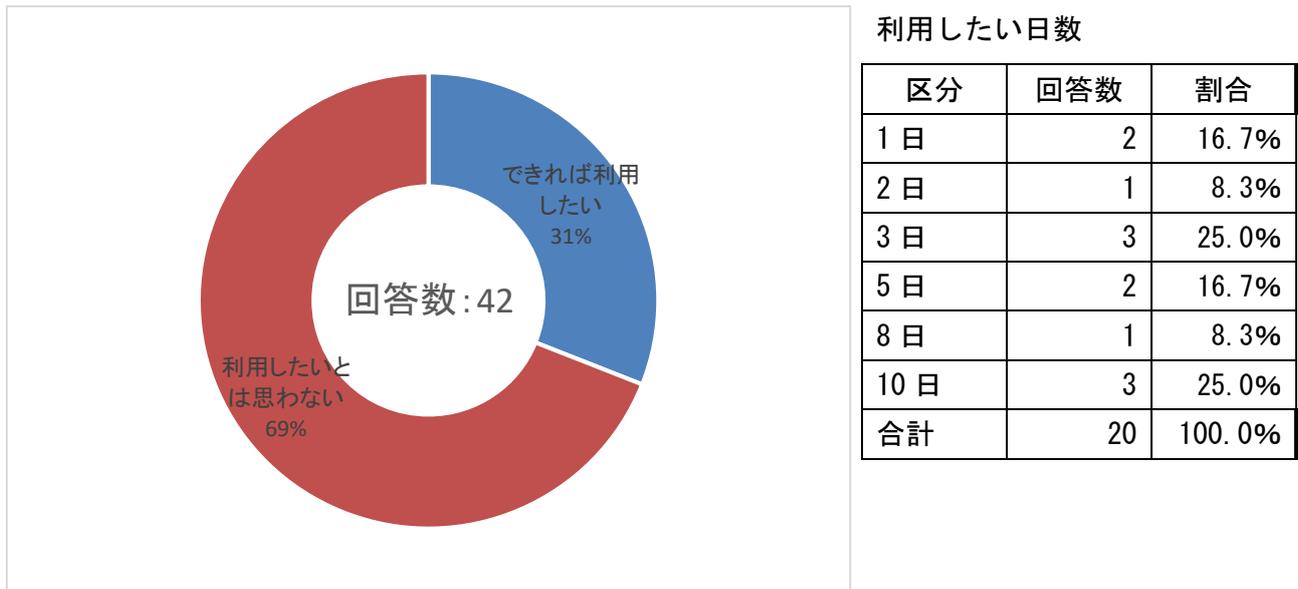
◆ケース別の日数



64名の回答のうち「母親が休んだ」が61.5%で一番多い。また、母親が休んだ日数は、年間6～10日が57.7%で一番多い。

問 24-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方への質問

問 24-2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望について



問 24-3 【問 24-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方】の望ましいとされる事業形態について（複数回答）

区分	回答数	割合
他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業	8	50.0%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	6	37.5%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	1	6.3%
その他	1	6.3%
合計	16	100.0%

16名の回答のうち「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が50.0%で一番多い。

問 24-4 【問 25-2 で「利用したいと思わない」と回答した方】の理由について（複数回答）

区分	回答数	割合
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	19	35.8%
地域の事業の質に不安がある	3	5.7%
地域の事業が利用の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	5	9.4%
利用料がかかる・高い	7	13.2%
利用料がわからない	5	9.4%
親が仕事を休んで対応する	10	18.9%
その他	4	7.5%
合計	53	100.0%

53名の回答のうち「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が35.8%で一番多い。

問 24-1 で「父親、母親が休んで子どもをみる」以外の回答をした方への質問

問 22-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

区分	回答数	割合
できれば仕事を休んで看たい	5	55.6%
休んで看ることは非常に難しい	4	44.4%
合計	9	100.0%

できれば仕事を休んで看たい休暇希望日数

区分	回答数	割合
0日	1	20.0%
1日	1	20.0%
3日	1	20.0%
5日	1	20.0%
その他	1	20.0%
合計	4	100.0%

「できれば仕事を休んで看たい」と思った方が55.6%となった。

問 24-6 【問 24-5 で「休んで看ることは非常に難しい」と回答した方】のそう思われる理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
子どもの看護を理由に休みがとれない	2	33.3%
自営業なので休めない	3	50.0%
休暇日数が足りないので休めない	0	0.0%
その他	1	16.7%
合計	6	100.0%

「その他」では、ひとり親で職業上休めないとの意見があった。

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用に関する質問

問 25 日中の定期的な保育や病気のため以外の、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について（重複回答）

区分	回答数	割合
一時預かり	17	19.5%
幼稚園の預かり保育	3	3.4%
ファミリー・サポート・センター	1	1.1%
夜間養護等事業・トワイライトステイ	0	0.0%
ベビーシッター	3	3.4%
その他	0	0.0%
利用していない	63	72.4%
合計	87	100%

1年間の利用日数

一時預かり

区分	回答数	割合
1日	1	5.9%
2日	1	5.9%
3日	2	11.8%
5日	3	17.6%
10日	2	11.8%
15日	1	5.9%
24日	1	5.9%
40日	2	11.8%
50日	1	5.9%
90日	2	11.8%
120日	1	5.9%
合計	17	100.0%

幼稚園の預かり保育

区分	回答数	割合
3日	1	33.3%
48日	1	33.3%
60日	1	33.3%
合計	3	100.0%

ファミリー・サポート・センター

区分	回答数	割合
5日	1	100%

ベビーシッター

区分	回答数	割合
1日	1	33.3%
3日	1	33.3%
10日	1	33.3%

87件の回答があり、「一時預かり」は19.5%で、利用日数は5日が一番多い。「利用していない」が72.4%いる。

問 25-1 【問 25 で「利用してしない」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
特に利用する必要がない	50	67.6%
利用したい事業が地域にない	2	2.7%
地域の事業の質に不安がある	1	1.4%
地域の事業の利便性（立地や利用可時間・日数など）がよくない	0	0.0%
利用料がかかる・高い	5	6.8%
利用料がわからない	3	4.1%
自分が事業の対象者になるのかわからない	4	5.4%
事業の利用方法（手続き等）がわからない	5	6.8%
その他	4	5.4%
合計	74	100.0%

「特に利用する必要がない」が 67.6% で一番多い。

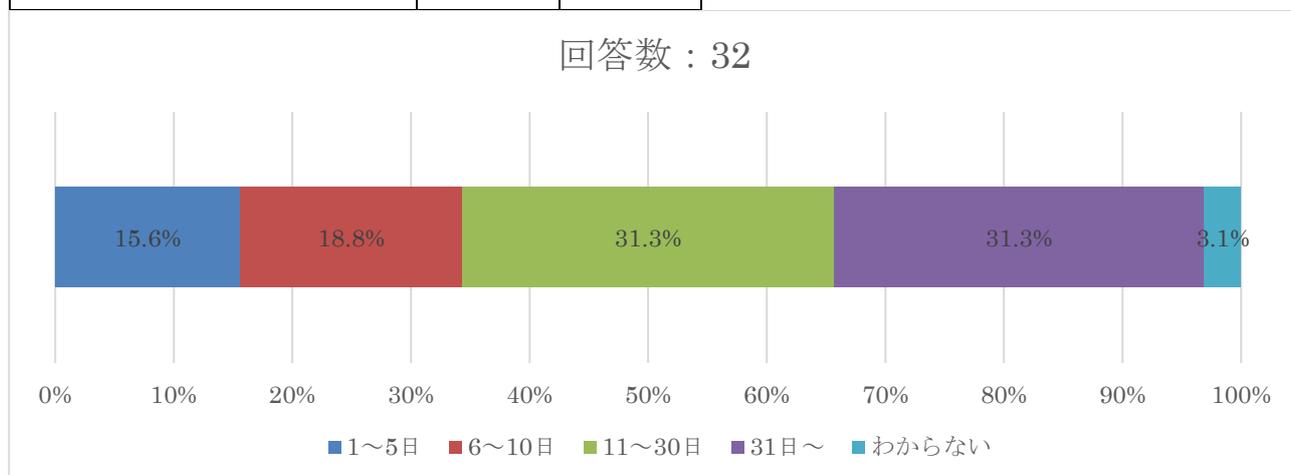
問 26 私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業利用の希望について

区分	回答数	割合
利用したい	32	37.6%
利用する必要がない	53	62.4%
合計	85	100.0%

年間で「利用したい」日数について（重複回答）

区分	回答数	割合
1～5日	5	15.6%
6～10日	6	18.8%
11～30日	10	31.3%
31日～	10	31.3%
わからない	1	3.1%
合計	31	100.0%

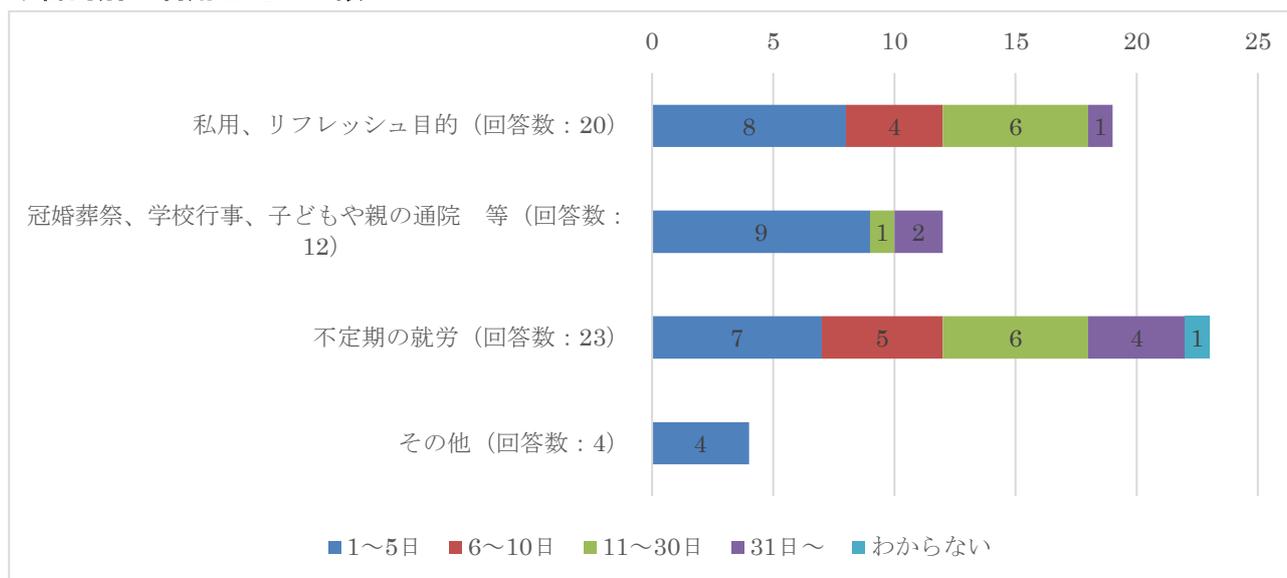
回答数：32



「利用したい」と回答した方のその目的（重複回答）

区分	回答数	割合
私用、リフレッシュ目的	19	32.8%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等	12	20.7%
不定期の就労	23	39.7%
その他	4	6.9%
合計	58	100%

◆目的別の利用したい日数



事業を利用したいとの回答が 37.6%あった。そのうちの目的別で見ると、「不定期の就労」は 39.7%、利用したい日数は 1～5日が一番多い。

問 26-1 【問 26「利用したい」と回答した方】のこどもを預ける場合の望ましいとする事業形態について（重複回答）

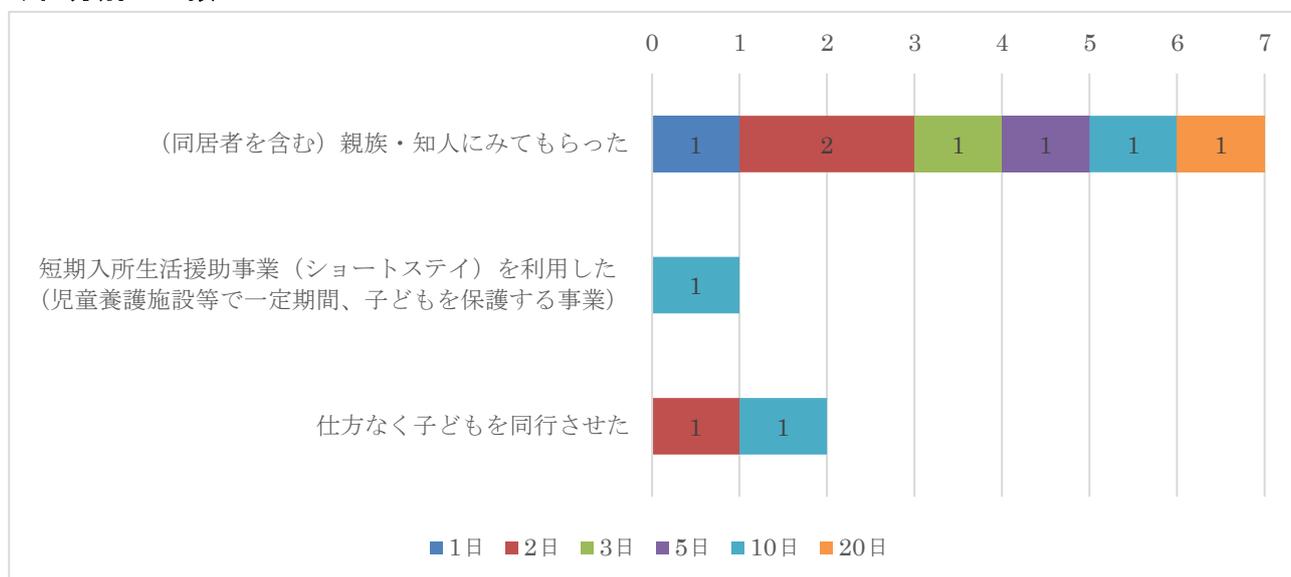
区分	回答数	割合
一時預かり	25	35.2%
幼稚園の預かり保育	10	14.1%
ファミリー・サポート・センター	2	2.8%
認定こども園	17	23.9%
地域型保育事業	8	11.3%
ベビーシッター	8	11.3%
障がい児支援施設	1	1.4%
その他	0	0.0%
合計	71	100.0%

幼稚園・保育園のような大規模施設での保育が望ましいとする割合が、地域子育て支援事業のような小規模施設での保育を上回っている。

問 27 この1年間に、保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

区分	回答数	割合
親族・知人にみてもらった	8	9.3%
短期入所生活援助事業を利用した	1	1.2%
短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した	0	0.0%
仕方なく子どもを同行させた	3	3.5%
仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%
その他	0	0.0%
なかった	74	86.0%
合計	156	100.0%

◆区分別の日数



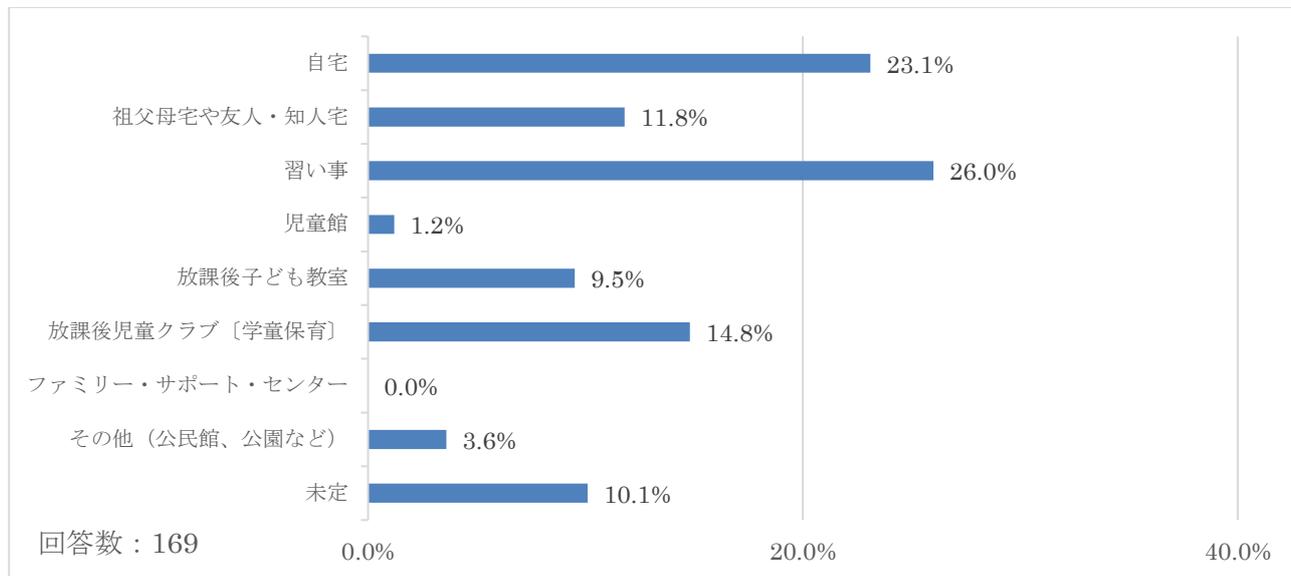
「あった」との回答が 14.0%あり、そのうち「(同居者を含む) 親類・知人にみてもらった」が 9.3%と一番多い。日数では 20 日という回答もあった。

問 27-1 【問 27 で「ア・(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方】のその困難度について

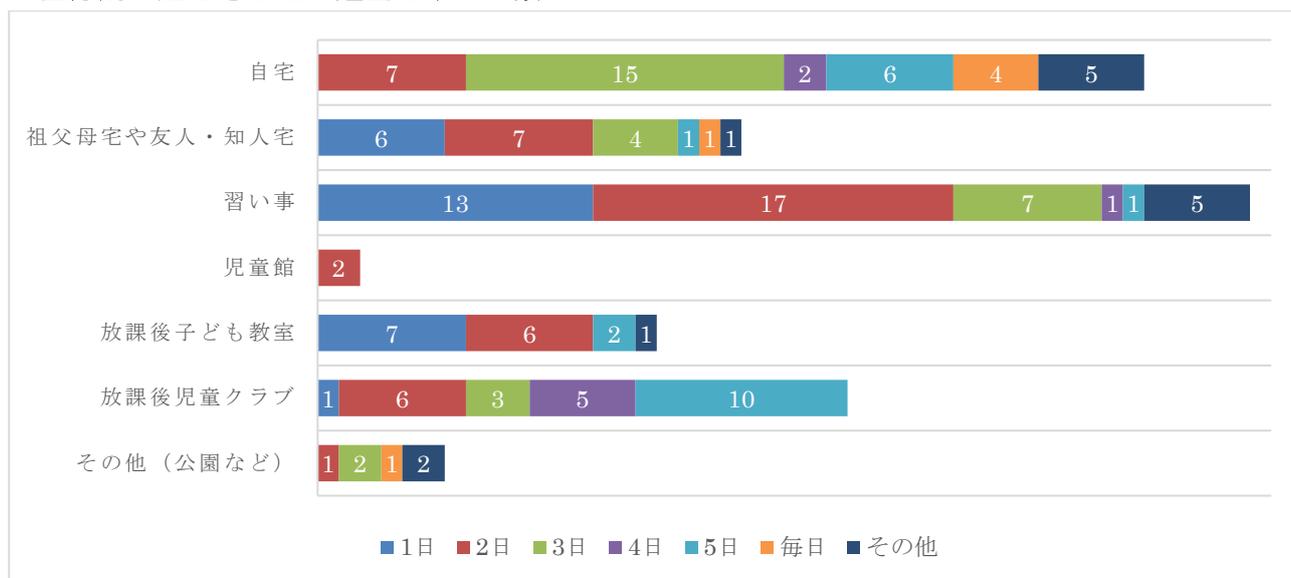
区分	回答数	割合
非常に困難	0	0.0%
どちらかというと困難	2	25.0%
特に困難ではない	6	75.0%
合計	8	100.0%

お子さんが5歳以上である方の小学校就学後の放課後の過ごし方に関する質問

問 28 小学校低学年時（1年生から3年生）の、放課後に過ごさせたい場所について（重複回答）



◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数

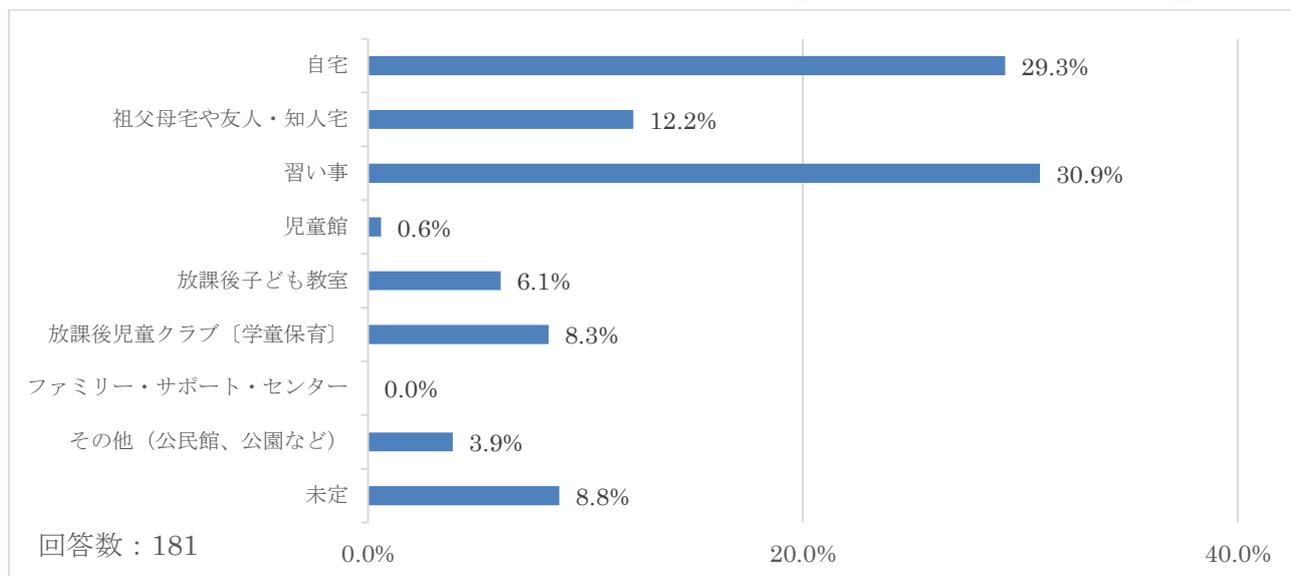


児童クラブを下校時間から何時まで利用したいか

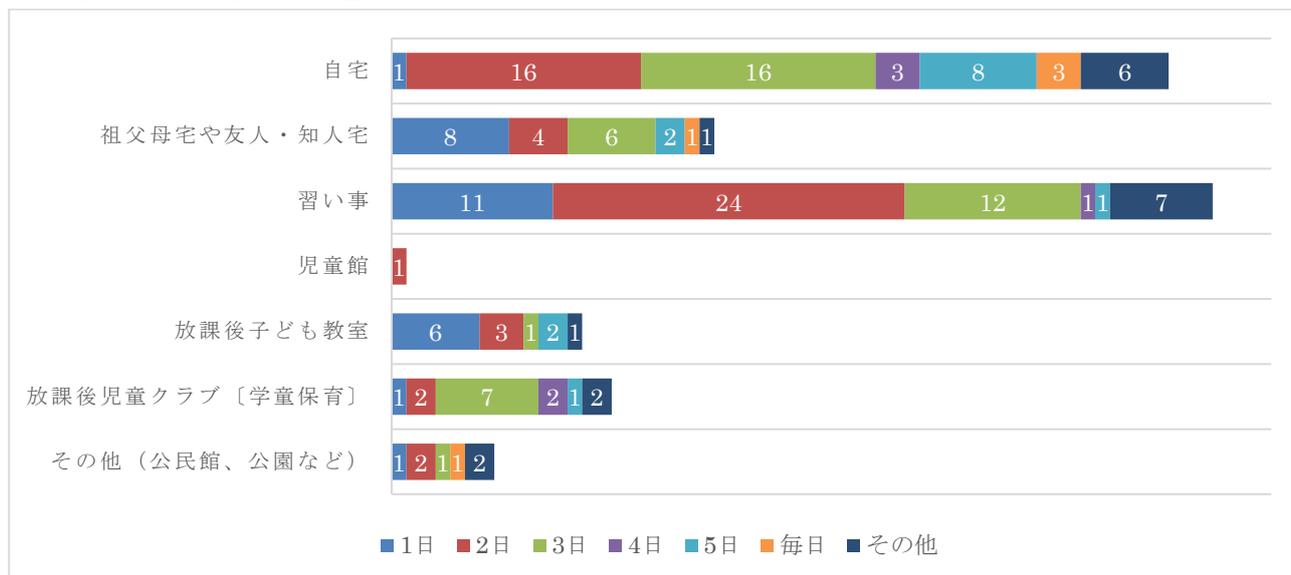
区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
16:00	1	4.0%	18:00	5	20.0%
16:30	3	12.0%	18:30	1	4.0%
17:00	7	28.0%	18:45	1	4.0%
17:30	5	20.0%	19:00	1	4.0%
17:45	1	4.0%			
			合計	25	100.0%

「習い事」が26.0%で一番多く、「自宅」が23.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」14.8%となっている。また「下校時から何時まで」の質問では16時00分から19時00分までの回答があった。

問 29 小学校高学年時（4年生から6年生）の、放課後に過ごさせたい場所について（重複回答）



◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数



児童クラブを下校時間から何時まで利用したいか

区分	回答数	割合
16:30	2	13.3%
17:00	4	26.7%
17:30	2	13.3%
17:45	1	6.7%
18:00	3	20.0%
18:30	2	13.3%
19:00	1	6.7%
合計	15	100.0%

「習い事」が30.9%で、「自宅」が29.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」12.2%となっている。また「下校時から何時まで」の質問では午後4時30分から午後7時00分までの希望があった。

問 30 【問 28 または問 29 で、「放課後児童クラブ」と回答した方】の土曜日と日曜・祝日の利用希望について

土曜日

区分	回答数	割合
低学年	7	25.9%
高学年	3	11.1%
利用する必要はない	17	63.0%
合計	27	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	14.3%
7:30	1	14.3%
9:00	5	71.4%
合計	7	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	14.3%
16:00	1	14.3%
16:30	1	14.3%
17:00	1	14.3%
18:00	2	28.6%
19:00	1	14.3%
合計	7	100.0%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:45	1	33.3%
8:00	1	33.3%
その他	1	33.3%
合計	3	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
18:00	1	33.3%
18:30	1	33.3%
その他	1	33.3%
合計	3	100.0%

日曜日

区分	回答数	割合
低学年	7	25.9%
高学年	0	0.0%
利用する必要はない	20	74.1%
合計	27	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	14.3%
7:30	1	14.3%
8:00	1	14.3%
9:00	4	57.1%
合計	7	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
16:00	1	14.3%
16:30	1	14.3%
17:00	1	14.3%
18:00	3	42.9%
19:00	1	14.3%
合計	7	100.0%

「土曜日」では、低学年までは利用したいとの回答が7名あり、高学年になっても利用したいとの回答が3名あった。

「日曜日・祝日」では、低学年までは利用したいとの回答が7名あったが、高学年になっても利用したいとの回答はなかった。

利用したい時間帯については、土曜日、日曜・祝日とも、日中の時間帯は預けていたいという回答が多かった。

問 31 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について

区分	回答数	割合
低学年まで利用したい	30	35.3%
高学年になっても利用したい	10	11.8%
利用する必要はない	45	52.9%
合計	85	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	2	6.7%
7:30	1	3.3%
7:45	1	3.3%
8:00	7	23.3%
8:30	2	6.7%
9:00	11	36.7%
9:30	1	3.3%
10:00	2	6.7%
無回答	1	3.3%
その他	2	6.7%
合計	30	100%

何時まで

区分	回答数	割合
14:00	2	6.7%
15:00	5	16.7%
15:30	1	3.3%
16:00	5	16.7%
16:30	1	3.3%
17:00	3	10.0%
17:30	3	10.0%
17:45	1	3.3%
18:00	5	16.7%
19:00	2	6.7%
その他	2	6.7%
合計	30	100%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:30	1	9.1%
7:45	1	9.1%
7:50	1	9.1%
8:00	1	9.1%
9:00	5	45.5%
10:00	1	9.1%
その他	1	9.1%
合計	10	100%

何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	9.1%
16:00	2	18.2%
16:30	1	9.1%
17:00	2	18.2%
18:00	2	18.2%
18:30	2	18.2%
その他	1	9.1%
合計	10	100%

低学年までは利用したいとの回答が 30 名あり、高学年になっても利用したいとの回答が 10 名あった。利用したい時間帯については、9時から利用したいという回答が多かった。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度に関する質問

問 32 育児休業給付や保険料免除の仕組みについて

区分	回答数	割合
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	45	52.9%
育児休業給付のみ知っていた	11	12.9%
保険料免除のみ知っていた	4	4.7%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	25	29.4%
合計	85	100.0%

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が52.9%で一番多い。

問 33 こどもが生まれた時の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
働いていなかった	21	24.7%
取得した（取得中）	35	41.2%
していない	28	32.9%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%

取得していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%
仕事が忙しかった	3	8.1%
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	1	2.7%
仕事に戻るのが難しそうだった	3	8.1%
昇給・昇格などが遅れそうだった	2	5.4%
収入減となり、経済的に苦しくなる	4	10.8%
保育園などに預けることができた	0	0.0%
配偶者が育児休業制度を利用した	1	2.7%
制度を利用する必要がなかった	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	3	8.1%
職場に育児休業の制度がなかった	5	13.5%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	13.5%
育児休業を取得できることを知らなかった	1	2.7%
産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
その他	9	24.3%
合計	37	100.0%

父親

区分	回答数	割合
働いていなかった	1	1.3%
取得した（取得中）	10	12.5%
していない	67	83.8%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

取得していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	13	10.2%
仕事が忙しかった	34	26.8%
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	1	0.8%
仕事に戻るのが難しそうだった	3	2.4%
昇給・昇格などが遅れそうだった	3	2.4%
収入減となり、経済的に苦しくなる	26	20.5%
保育園などに預けることができた	1	0.8%
配偶者が育児休業制度を利用した	10	7.9%
制度を利用する必要がなかった	5	3.9%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	12	9.4%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	2	1.6%
育児休業を取得できることを知らなかった	3	2.4%
産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
その他	14	11.0%
合計	127	100.0%

母親については、「取得した（取得中である）」が35名（41.2%）あり、「取得していない」が28名（32.9%）となった。

父親については、「取得した（取得中である）」が10名（12.5%）あり、「取得していない」が127名（94.1%）となった。取得していない理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の回答が多かった。

なお、取得していない理由の「その他」についてはほとんどが自営業のためである。

問 33-1 【問 33 で「取得した（取得中である）」と回答した方】の育児休業取得後の職場への復帰について

母親

区分	回答数	割合
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業より早く復帰した）	6	17.1%
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業どおりに復帰した）	14	40.0%
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業より遅く復帰した）	2	5.7%
現在も育児休業中である	9	25.7%
育児休業中に離職した	4	11.4%
合計	35	100.0%

父親

区分	回答数	割合
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業より早く復帰した）	2	20.0%
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業どおりに復帰した）	7	70.0%
育児休業取得後、職場に復帰した（希望する育児休業より遅く復帰した）	0	0.0%
現在も育児休業中である	1	10.0%
育児休業中に離職した	0	0.0%
合計	6	100.0%

母親、父親とも「育児休業取得後、希望する育児休業どおりに職場に復帰した」の回答が一番多い。

問 33-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問

問 33-2 実際に育児休業から職場復帰した時のお子さんの年齢とその希望について

母親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
4 か月	1	4.5%
10 か月	2	9.1%
11 か月	1	4.5%
1 歳	12	54.5%
1 歳 1 か月	1	4.5%
1 歳 6 か月	3	13.6%
3 歳	1	4.5%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

希望

区分	回答数	割合
1 歳	10	45.5%
1 歳 6 か月	4	18.2%
2 歳	1	4.5%
3 歳	3	13.6%
5 歳	1	4.5%
無回答	3	13.6%
合計	22	100.0%

父親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
0 歳	3	33.3%
2 週	1	11.1%
1 か月	2	22.2%
2 か月	2	22.2%
無回答	1	11.1%
合計	9	100.0%

希望

区分	回答数	割合
0 歳	1	11.1%
1 か月	1	11.1%
1 歳	2	22.2%
3 歳	1	11.1%
無回答	4	44.4%
合計	9	100.0%

母親については、実際の取得期間も希望も 1 歳が一番多かった。

父親も 1 歳までの取得を希望している回答が多かった。

問 33-3 育児のために 3 歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望取得年齢について

母親

区分	回答数	割合
1 歳	5	22.7%
2 歳	5	22.7%
3 歳	10	45.5%
無回答	2	9.1%
合計	22	100.0%

父親

区分	回答数	割合
0 歳	1	11.1%
1 か月	1	11.1%
1 歳	2	22.2%
3 歳	2	22.2%
無回答	3	33.3%
合計	7	100.0%

母親については 3 歳までの希望が 45.5%となり、父親も 1 歳以上まで希望する回答が多かった。

問 33-1 で実際の復帰と希望が異なる方への質問

問 33-4 希望の時期に復帰しなかった理由について

(1) 「希望」より早く復帰した方 (重複回答)

母親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入るため	4	44.4%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	33.3%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	11.1%
その他	1	11.1%
合計	9	100.0%

父親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	1	50.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0	0.0%
その他	1	50.0%
合計	2	100.0%

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (重複回答)

母親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入れなかったため	1	50.0%
自分や子どもの体調が思わしくなかったため	1	50.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受入れ態勢が整っていないため	0	0.0%
子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

※父親は該当者なし。

「希望」より早く復帰した方については、「経済的な希望で早く復帰する必要があった」が一番多かった。「希望」より遅く復帰した方については、回答が少ない。

問 33-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問
問 33-5 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

母親

区分	回答数	割合
利用する必要がなかった	5	22.7%
利用した	12	54.5%
利用したかったが、利用しなかった	5	22.7%
合計	22	100.0%

父親

区分	回答数	割合
利用する必要がなかった	6	66.7%
利用した	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった	3	33.3%
合計	9	100.0%

母親で、「利用した」と回答した方が 50.0%あった。

問 33-5 で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方への質問

問 33-6 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について（重複回答）

母親

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	14.3%
仕事が忙しかった	1	14.3%
短時間勤務にすると給与が減額される	2	28.6%
短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	1	14.3%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するために退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	2	28.6%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	2	15.4%
合計	7	100.0%

父親

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%
仕事が忙しかった	2	40.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	0	0.0%
短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するために退職した	1	20.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	1	20.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	1	20.0%
合計	5	100.0%

回答数が少なく判断できない。

問 33-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方への質問

問 33-7 こどもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
1歳になるまで育児休業を取得したい	7	77.8%
1歳になる前に復帰したい	2	22.2%
合計	10	100.0%

父親

区分	回答数	割合
1歳になるまで育休取得したい	1	100.0%
1歳になる前に復帰したい	0	0.0%
合計	1	100.0%

母親の77.8%が「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した。

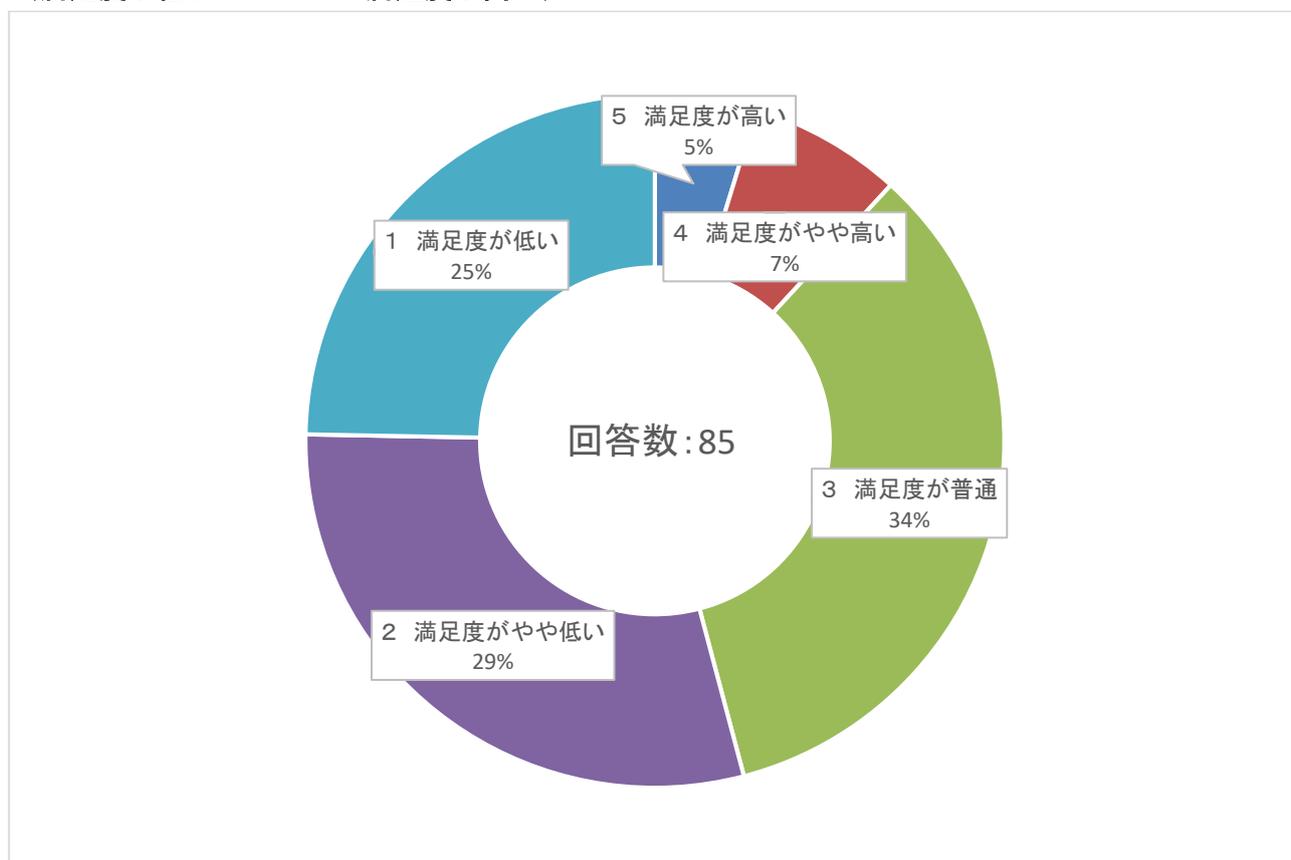
問 34 子育て情報を主に誰（どこ）から取得していますか。

区分	回答数	割合
友人・知人	70	27.5%
近所の人、職場の人	25	9.8%
村のホームページ、広報、パンフレットなど	37	14.5%
子育て支援アプリ おひさま	6	2.4%
テレビやラジオ、育児書・育児雑誌・新聞	15	5.9%
SNS	34	13.3%
民間の相談サービス	0	0.0%
民生委員・児童委員	0	0.0%
子育ての仲間、育児サークル	7	2.7%
保育園・幼稚園	39	15.3%
子育て支援ルーム	13	5.1%
白馬村こども家庭センター	0	0.0%
村の相談窓口・保健センター・総合教育センター・男女共同参画センターなど	2	0.8%
病院・診療所や療育関係機関	2	0.8%
その他	5	2.0%
合計	255	100.0%

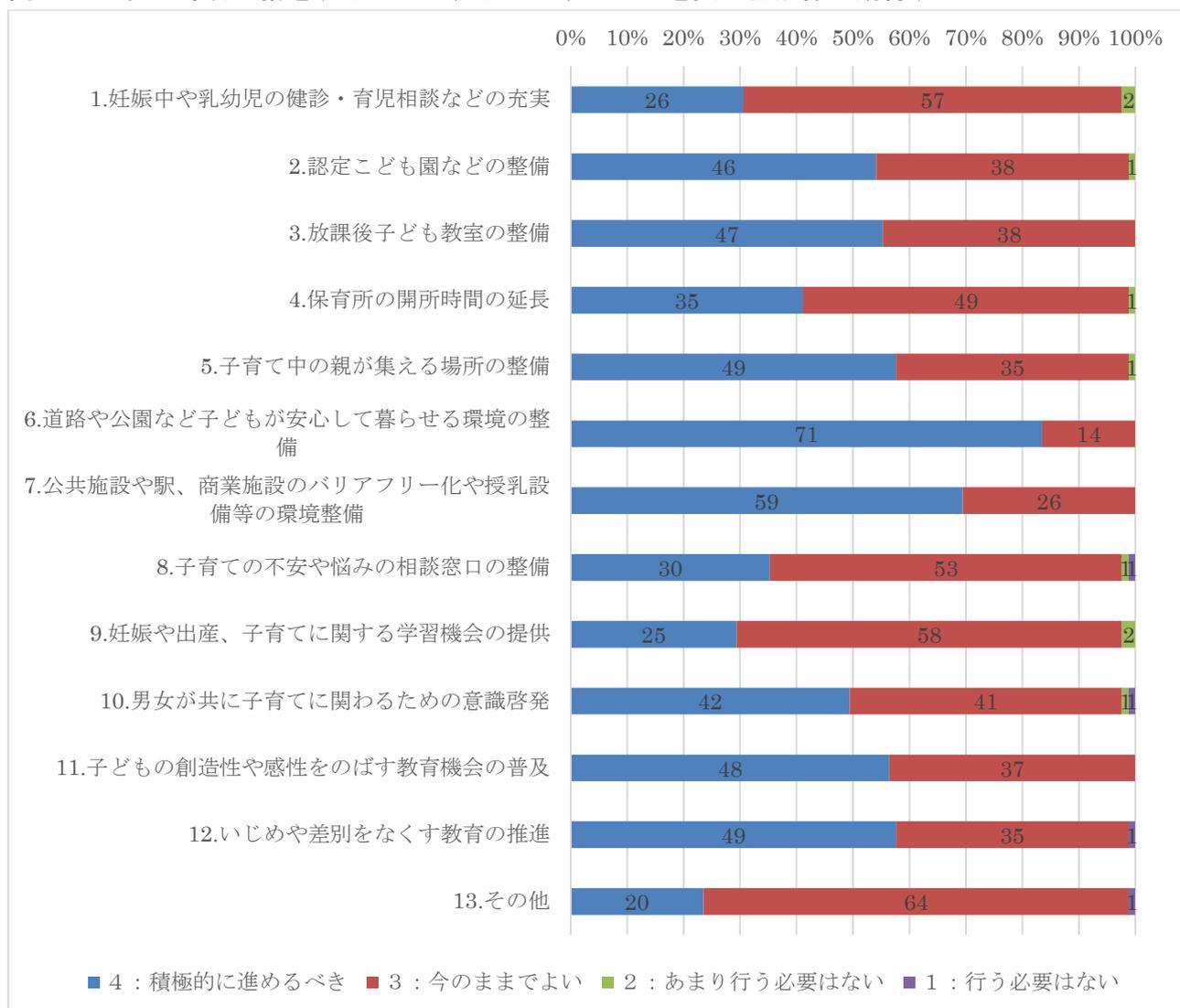
問 35 どのように子育て情報を知りたいと考えていますか（主なもの3つ）

区分	回答数	割合
子育て支援施設（幼稚園・保育園等）の受け入れに関する情報	44	17.3%
乳幼児健診、予防接種等に関する情報	17	6.7%
病院・休日当番医等に関する情報	24	9.4%
子どもに関する手当（児童手当・医療費助成等）に関する情報	42	16.5%
子育て支援センター・支援ルーム等で行われるイベント情報	29	11.4%
小学校に関する情報	16	6.3%
放課後児童クラブに関する情報	10	3.9%
一時預かり（一時保育）、ファミリー・サポート・センターに関する情報	16	6.3%
病児・病後児保育に関する情報	8	3.1%
障がい児（発達支援）保育に関する情報	2	0.8%
健康・発達についての情報	19	7.5%
しつけ・成長等子育てに関する情報	13	5.1%
食事・栄養に関する情報	13	5.1%
その他	2	0.8%
合計	255	100.0%

問 36 白馬村における子育ての環境や支援への満足度について
（満足度が低い 1⇔5 満足度が高い）



問 37 子育て環境整備をするために、どのようなことを国や自治体に期待するか



⑬その他の内容

- 白馬村は幼児が安全に遊べる遊具がある公園があまりないので作って欲しいです。
- 子供が3人からの支援しか無いのはおかしい。子供が1人からの支援が必要だと思う。
- 外国の方の文化が違うので日本の文化をもっと伝えるようにして欲しい。
 子供は外国の子供が自由すぎて困っています。静かに話を聞く、人が話しているときには口を挟まない。話終わってから、自分の意見を言う。順番待ちをする。静かにするとき、騒いで良いときの区別。最低限のしつけをして欲しい。
 日本人の保育園の子どもたちもできていない子が多い気がします。個性の尊重、自由な教育だけでは、小学校に上がってからの集団生活が困ります。真面目に授業を受けている子どもたちは迷惑です。
- Please provide a public playground suitable for children under 5 years old, especially for children under 3 years old. (5歳未満の子ども、特に3歳未満の子どもに適した公共の遊び場を提供してください。)
- 保育園の入園条件をもっと柔軟にしてほしいと思います。私は三男の産後、祖母が手伝いに来られず、パパに1ヶ月育休をとってもらいました。本当は動けない私の代わりに家事等お願いしたかったのに、当時2歳の次男も1ヶ月保育園を退園することになり、結局パパは次男の

世話をしなければなくなってしまうました。あの時、次男がそのまま保育園に入園できていれば良かったなと思います。

- 子どもが少なくなっており、小学生になるころには同級生何人いるかなと不安に思います。南北小学校の統合も見通しが持てずどうなるのかなと思っています。子どもたちにとってよりよい環境を望みますが、具体的にどうなったらよいか親も想像がつかないところもありお任せになっていて申し訳ない気もしております。
- 育休と仕事(経営)が矛盾している。言葉では理想論は言えますが、現場は違います。仕組みを作る方は机の上で議論ではなく、是非経営者体験をしてみてください。
- 中学校、高校、大学、専門学校、高等専門学校、海外留学などの将来の進学に関する情報を早い段階から得られるようになるとありがたい。
- 地元ではリーズナブルに利用できる木でできた室内アスレチック施設などがいくつかあります。0-2歳ぐらいが集まる施設やもう少し大きい2-4歳ぐらいが遊ぶのにちょうど良い施設などあるので年齢に合わせて遊ぶ施設を選べます。白馬村では支援ルームで遊べますが、土日祝など空いてない日に雨が降ると近くに遊べる場所がないのでそこが残念です。また無料で遊べる遊具のある公園が欲しいです。
- 分かりやすいホームページ、案内など
- 白馬村は観光に力を入れていて観光が強い村だが、福祉にも強い村になって欲しい。
- 経済的にも精神的にもゆとりを持って子育てができる働き方、社会との関わり方。(親子出勤が許容出来る企業の余裕、週2、3日預けたいなど現在の保育施設の規定に合わなくても年間を通して通える預けられる仕組み、妊娠して仕事を辞めてしまうと子育てしながら新たな職に就くのがとても難しいので給付金が出ないとしても育休3年等戻りやすい再就職しやすい社会づくり)
- 給食費の無料化。(オーガニック食品とか二の次で良い) 保育園等子供を預ける場所の拡大・拡充。
- 普通の公園作ってください。子ども達が安全に遊べる環境が少ないと思います。
- 子ども医療費の無料化。給食費の無料化。
- 英語を話せる保育士、教育者を増やしてほしい。
- 学校給食の食材、内容を検討してほしい。とくに牛乳は選択制でよくないですか?かなり時代遅れな対応かとおもいます。
- フリーランス、自営業家庭への補助。
- 英語教育の更なる充実化
- 中学校までは伸び伸びと過ごせていい環境だと思うのですが、高校からの選択肢が狭く、そこが改善できればもっと子育てしやすいと感じます。例えば、長野までのバスに学割がある、遠方へ通う場合には補助がでるなど。
- 世帯状況によって、教育、母親の働く機会、習い事への参加など社会参加への機会の格差を減らす対応。※世帯状況(核家族と多世代同居の世帯、一人親、単身赴任の世帯など)
現在の子育ての負担を親だけに強いる状況から、親以外の大人が子育てに参加する、当事者として支える場、人材の拡充。インクルーシブ教育

問 38 建設予定の子育て支援施設に取り入れてほしい機能や意見について（自由回答）

- なんでも後回しになっていて本当にやってくれるのか。あまり期待していません。
- 授乳室やおむつ替えが個室で、鍵のかけられる扉で仕切られているような綺麗なつくり、ウォーターサーバー（エコ）、公園エリア、図書館、室内で遊べる場所、WIFI もあり大人も仕事や勉強できるような（WIFI 村民のみ利用できるなどする。有料でも。リモート勤務ママパパが仕事しながら子供を遊ばせられるような施設）、山が見えるなど白馬ならではの景色が望めるような場所、暑さ、熊、大雪の日、雨でも遊べるような場所、室内でも広々遊べるようなアスレチックなどのある場所、（室内イメージは国営あずみ公園）
- 気軽に子連れワンオペでもご飯を食べやすい場所。子供と遊ぶ、休めるところ
- 遊具がある公園
- 自然の中で遊べる公園が欲しい。
- 子供が安心して遊べる遊具付きの施設と図書館などの複合施設にしてもらいたい。（すべての世代と一緒に過ごせるように）
- それより、小学校の統合を早くしてください！！！！！！、小学校に通うときの一学年の児童数が少なすぎる！支援施設に親子で食べられるカフェを併設して 500 円で親子が食べられたら、離乳食の準備から開放されるし、外でご飯が食べられるのでリフレッシュできるのでありがたい。保育園の給食が、食べられそのレシピが貰えたら家でも作れてマナー解消できる。
- 大人も静かに勉強や読書ができるような広いスペースを希望。
- いざという時の防災的機能
- 遊具のある大きな公園がほしい。6 ヶ月ごろから預けられる場所を作ってほしい。
- 図書館や体育館等の広い室内スペース、1 人で勉強出来るスペース、ご飯やお弁当等の飲食できるところ
- 託児所
- 屋内外にベンチをたくさん置いて欲しい
- 幅広い年代の子供が土日でも使えるようにしてほしい。
- インクルーシブ遊具、室内アスレチック、小さな飲食スペース、カフェ、ミーティングスペース、授乳室、オムツ替えスペース
どんな天候でも親、祖父母と孫（未就学児）が、安心して過ごせる、1 日滞在していただける環境。未就学児が遊べるキッズスペースは広くあってほしい。
- 立派な物を作る前に、子供が安心して歩ける歩道などを。支援と言う文言の先まで考えた方が良いものが作れるのかなと思います。
- 室内の遊ぶ場所、図書館
- 令和 10 年から建設計画があることを知らなかった。幅広く情報公開をして多くの良い意見を取り入れながら建設を進めていただきたい。
- 年齢別に遊べるとトラブルがなくて安心です。また施設内におむつ替えスペースや授乳スペース、コインロッカー、軽食が売っていて食べられる場所などがあると嬉しいです。
- 雨の日でもいっぱい遊べる施設があるといい。安曇野アルプス公園の室内のような。
- 2 日前予約ではなく、最悪 1 日前でも預けられるシステム。
- セキュリティに配慮された門扉の設置、送迎駐車場の十分な確保
- 雨の日の充実施設、図書館、勉強スペース

- 暑い時期に水遊びができる設備、大型遊具、室内遊具
- 公園、天気が悪くても遊べるスペース、図書館、勉強スペース、カフェ、フリーWi-Fi、レンタルスペース、イベントを定期的に開催
- 図書館、未就学児が室内で遊べるスペース、地域の方々がイベントを開催できるスペース
糸魚川市の『クラブハウス美山』

こちらはコワーキングスペースですが、図書エリアやちょっとしたキッチンなどがあり、地域の子育て世代の交流場になっているそうです。また、地域方主催のイベントも開催されています。

会社の保養所を、地域方と計画してリノベーションした施設です。

1 から建設するだけでなく、跡地利用も考えても良いのではと思います。幼稚園や小学校跡地など

- 一度話は無くなったみたいだが、図書館と支援ルーム、習い事などが行われる文化施設、飲食が出来るラウンジ（親子が集える）、公園が一体化した施設
- 常時一般開放で利用できるような遊具のある公園施設を希望します。
白馬村内には子供が遊具で遊べる公園が全く充実していないので、住民やその子供が遊んで集える場所が欲しいです。
- 子どもの知育おもちゃが欲しい。手を使う遊び、手で引っ張る、押す、型はめ、目で見るとの発達に必要な遊びが欲しい。雨の日や室内でも体を思いっきり動かして体幹を鍛える遊具が欲しい。滑り台、トンネル(くぐる)、ブランコ、よじ登る、平均台、ボールプール、トランポリン等。小さい子どもから小学校まで楽しめる内容にして欲しい。雨の白馬村は観光施設がないため、県内外問わずいろんな人が利用できる支援施設にして欲しい。大人用トイレと子ども用トイレを設置して欲しい。開放感があって木の温もりが感じられて人が集まりやすい支援施設にして欲しい。施設の中で持って来たお弁当を食べられる場所を作って欲しい。赤ちゃんの寝返り、ハイハイ、歩行の練習ができる場所が欲しい。持ってきた荷物を置くロッカーを設置して欲しい。物作りが自由にできるスペースが欲しい。
- テレビやWifi のない、体に優しい環境にしてもらえると様々なジャンルの方が安心して利用できると思います。クリエイティブな活動が思いっきりできる空間があると嬉しいです。
- つかまり立ち以降の子どもと利用しやすいトイレ（屋内、屋外両方）。帰省した時に利用したトイレがとても使いやすかった。ぜひ参考にして欲しい（北海道恵庭市花の拠点センターハウス、えにわファミリーガーデンリリア）。昼寝させられる部屋、飲食可能なエリア、年中、年長さんや小学生も一緒に連れて行ける場所（よちよちさんと一緒に危ないのでエリアを分けるなど）。午後や日曜も利用したい。
- 一時保育、一時延長保育、英語教育
- 知育的要素や、音楽、物作り、動物などに触れる機会を定期的にほしい。
- 図書室の拡大及び拡充。天候に左右されない室内の遊戯施設。
- もっと早くやるべきでしたね。、これからの子どもたちが育ちやすい環境づくりに尽力してください。
- 自動販売機、子供服やベビー用品、おもちゃなどのリユースコーナーの設置、授乳室、おむつ交換できる場所
- 冷暖房設備、お昼寝できる部屋、授乳、オムツ替え部屋、飲食できる部屋

- 雨でも遊べる場所
- 図書館、カフェ、年齢別に遊べる部屋(2歳以下、3から5歳、それ以上等)
- 0歳から17歳までか利用できる施設にしてください。
- 子育てに関する資料があると良いと思う。
- 雨の日でも遊べるような室内遊具や、ミニ図書館のようなもの。
- 宿泊業などリゾート特有に働き方による子育て家庭に対応した託児所
- 図書室、芝生、アスレチック遊具、水遊び場、シアタールーム、カフェ、冬出入りしやすい屋根付き駐車場、夏熱中症を防止する日陰、立木、参加型の畑、ブルーベリーの木、アーバンスポーツパーク、自然に優しいエネルギーを使用(太陽光、太陽温熱器、薪ストーブなど)、自然素材を使った建物、省エネ。
- 雨の日でも思い切り安心して遊べるスペース、お昼ご飯を準備できる機器(レンジ、お湯、冷蔵庫)、授乳、オムツ替えスペース
- 公園のような…誰でも気軽に散歩等出来たりする場所。いろんな人たちが交流することができて、そのサークルの中心に子供たちが存在していれば最高かと思います。ですので、難しいかも知れませんが、カクカクするものではなく、全体的に丸っこいイメージのものが出来上がると良いと思います。
- 先にも記入した通り、施設だけでなく保育者の質についてももう少し積極的に取り組んでほしい。子供を預かる人は誰でも良い訳ではないはず。
支援ルームを利用した際に、屋外が30度を超えているにも関わらず、エアコンも起動せずに支援ルームを運営して居たり、泣いている子供のケアを怠っている保育者が居たりなど、不審感を感じるシーンがありました。
- 子育てのワンストップ相談窓口、発達障害の専門職による相談窓口(カフェスペースの一角で気軽に相談できる場)、親のリフレッシュの場(子どもを預けられる)、ワーキングスペース(子どもを預けながら、短時間働ける場)
- 正直時間かけ過ぎかと感じます。いま、すぐにでも利用したいのに、そのころには必要なくなってしまう。(子どもが成長するので…)
図書館、児童館、公園など、すべてが揃っている複合施設がのぞましく、駐車場もきちんとあり、子どもが徒歩でも行ける範囲の場所への建設を希望します。
- 白馬村には公園がなく、子育て中の父母は休日大町や安曇野まで公園に連れて行きます。大きな公園は必要ありません。令和10年までにせめて一つくらい公園がほしいです。
- デカイ公園、遊具、噴水、芝生

問 39 子育て支援施設の建設に合わせて、開設予定の遊具のある公園に取り入れてほしい機能、意見について（自由回答）

- 子供達が考えて遊べるような遊具があったら嬉しいです。
- 安全で楽しい遊具、きれいなトイレ、授乳室
- 1歳前後から遊べて山が見える公園
- 単純でもいいから複数の人数が楽しめる遊具、小谷、大町あたりの人も休日に遊びに来たくなるような複合施設（買い物、遊び、スポーツなど）
- 年間を通じて使用できる室内プール、そり遊びできる小高い山
- 用事から小学生くらいまで幅広く遊べる遊具、保護者や高齢者も利用できるような屋根つきのベンチとテーブル、子供が裸足でも走り回れるような芝生、手洗い場水飲み場、広い砂場、夏にはじゃぶじゃぶ池のように水遊びができるエリア
- Include play equipment that can be used safely by very small children (3 and under) and have equipment enjoyed by older children nearby. It needs to be compact so that there is not a lot of walking required and so that parents can supervise children of different ages at the same time. (3歳以下の小さい子どもでも安心して利用でき、年長の子どもでも楽しめる遊具が近くにあるとうれしい。あまり歩く必要がなく、親が同時に異なる年齢の子どもたちをみていられるように、コンパクトなものが望ましい。)
- 大型の遊具がほしい
- 日陰の場所
- 屋内で遊べる場所、図書館
- タープで日陰が作れたり、雨でも外遊びができるような公園にして欲しいです。
- あづみの公園や他の市町村みたいにただ芝生で広く、見通しがよくて走って転んでも大丈夫な環境がほしい。森など木などが多いと見渡し悪く、クマなどの心配、観光業とは切り離して考えてほしい。
- 滑り台や砂場のある公園
- 遊具はもちろん、のびのびと体を動かせる施設、雨でも室内で体を動かせる施設がほしいです。
- 子供に聞いたところ、ブランコと滑り台、じゃぶじゃぶ池とリクエストされました。
親としては、イメージがわかかなかったので検索したところ、インクルーシブ遊具というものがヒットしました。以下のサイトに出ているような複合遊具が魅力的。以下の企業自体は特に関係なく、たまたまインクルーシブ遊具として検索し見つけただけです。ぜひ色々な地方自治体の魅力的な遊具、公園、複合施設など調べて参考にさせていただきたいです。
<https://www.okabe-net.com/category/yuugu-sekourei/kouen/>
<https://townscape.kotobuki.co.jp/works/type1/park/>
積雪の問題もあるので、難しいのかもしれませんが、遊具や公園の設計専門の方などの意見も取り入れつつ、幅広い年齢に愛される公園になってほしいなと思います。人工的な遊具だけではなく、自然を活かしたアスレチックや水遊びができるようなスペースもあると嬉しい。白馬の子供達に、好きな公園やどんな遊具がすきか絵を描いてもらうのもいいですね。
- 噴水、水遊びや泥、砂遊びができる場所、流れる小川、食事スペース(室内も)
- 駐車場

- ボルタリングウォールやスラックライン、ミニトレランコースなどがあつたらありがたい。比較的金をかけず、身体さえあれば取り組めるようなスポーツ体験が出来ると良いのではないかと思う。スキーやスノーボード、マウンテンバイクのように機材ありきのスポーツは世帯収入や多子世帯ではサポートに限度がある。これらのスポーツは設備や環境さえあれば誰もがすぐに取り組めると思う。また、体幹強化にもなると考えられ、転びやすいと言われる現代の子供たちの健康維持にもなると思う。
- 幼児が遊ぶのにちょうど良い大きさの遊具が集まるスペースと小学生が楽しめる遊具スペースなど分けて欲しいです。芝生の広場も欲しいです。
- 遊具がとにかく欲しい。手や足を使って登ったり降りたりするもの。
- 開門時間と閉門時間が決まっていて全体が見渡せて、夜から朝まで閉まるトイレ、子どもが道路などに飛び出さないように公園の周りには柵がついていて、走り回れる芝生のグラウンドと普通の公園にあるような遊具、影が出来るような屋根や樹木、グリーンスポーツの森のような観光客目当てじゃない村民の子どもたちの為だけの公園が欲しい。公園の管理の職を増やせば雇用を見込める。
- 季節が感じられる果樹があれば望ましいです。
- 下は土や砂ではなく、ウッドチップみたいなのが、いい。後は、木があつて日陰があるところがいい。雨でも外で子供とピクニックできる施設。
- 十分な数のベンチ、バリアフリーの舗道(ベビーカー含め)、水遊びエリア、噴水
- 噴水
- 水遊びが出来る設備
- 飲食ができるスペース
- 松本のアルプスパークみたいなもの
- 安曇野公園大町にある様な遊具、水遊びが出来る噴水
- ブランコ(幼児が安心して使えるタイプから、普通のタイプ)、滑り台やハシゴなどが付いている複合遊具(プレユニット)、アスレチック遊具、鉄棒、砂場、遊具以外では、テーブルつきベンチなど休憩できるスペース。
- 小さい子どもから小学生まで体を思いっきり動かして体幹を鍛える遊具を設置して欲しい。よじ登る、ジャンプする、平均台を渡る、トンネル(くぐる)、階段の登り下り、滑り台、ブランコ、シーソー、動く乗り物、砂場、泥んこ遊び等。階段がいくつもあつていろんな滑り台がある遊具が欲しい。夏の暑い日に噴水で水遊びができる場所が欲しい。水遊びのあとに暖かいシャワーを浴びて着替えができる場所が欲しい。草花や虫を観察して学べるお庭にして欲しい。ゆっくり座ってのんびりできるイスが欲しい。外で持ってきたお弁当を食べれる場所が欲しい。
- 室内で思いっきり体動かせる所がほしい! 冬でも、梅雨時期でも、暑い日でも関係なく遊べるところ? 大きめなら滑り台や遊具が欲しい
- 落ちたら骨が折れてしまいそうな遊具は避けて欲しいです… 木登りができる木を植えて欲しいです!
- 日差しで熱くならない遊具(木陰を作るなど)、つかまり立ち以降の子どもと利用しやすいトイレ、自販機
- 全天候型の遊べる場所
- 室外と室内両方作って欲しい。

- じゃぶじゃぶ池。安全に水遊びできる環境を。
- 芝(一部でもよい)
- 冬でも外であそべるようにと、砂場は野生動物の行き来などを防ぐように閉園時は蓋ができるようにしてほしい
- 水遊び
- 遊具、走り回れる広さ、築山やトンネル。公園自体1つではなく、北城と神城に1ヶ所ずつなど増やしてほしい。
- 0歳から17歳までか利用できる内容の公園にしてください。遊具も特定の年齢ではなく、みんながつかえるもの。雨天関係なくりょうできる施設をお願いします。冬も雨もつかえる。
- 安全性の高いもの。監視カメラ等犯罪防止のためのツール
- 昔はグリーンスポーツに遊具が色々あり楽しめたが、今は撤去され、広いのにもったいない場になっているので、芝生もあり、小さい子から小学生くらいの子まで楽しめるような、安全な公園を望みます。ベンチを多く置き、木もあってピクニックもでき、水遊びもでき、白馬の自然を生かした素敵な公園ができるととっても嬉しいです！
- 上記記入
- 砂場、幼児が遊べるくらいのおおきさの遊具→ブランコや滑り台、水道、日陰
- カクカクしておらず、全体的に丸っこいイメージ。障害を持つ子でも遊べる遊具、芝生でも土でも、裸足で遊べる屋外スペース
- 雨の日でも子供たち達が遊べる施設。遊具がなくてもボール遊びなど安全に出来る場所。
- デカい公園、遊具、噴水、芝生

問 40 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見について（自由回答）

- 観光客を呼び込むことに力を注ぐだけでなく、子育てしやすいように村を整えてほしい。村の子供がもっと増えたり移住してきてもいいように保育園や幼稚園を増やす。病院（歯医者含む）をつくる。アンケートが長く子育てしながら回答するには時間がかかりすぎました。また村には外国人も多くいるため日本語のアンケートはハードルが高く。優しい日本語にするか英語も選択できるようになるといいと思いました。
- 意見を聞いてもらえるのは有難いが、このアンケートはシステムのめんどくさい。時間がかかる。
- 子供が1人からの支援、出産お祝い金の復活
- よそから入ってきた人（外国人も含む）も安心して参加できるような環境が必要かと思いません。
- 大北地域から中高一貫校に通うのは地理的、物理的現在不可能なので、中高一貫校の立上げを検討してほしい。
- 若い世代が住めるよう安く借りる買える土地や家屋があればよい。空き家ばんくなど
- 小学校においてプラスアルファの英語教育、多様性を認め合う指導をしていただきたい。改善の為に色々お考えいただき大変ありがたいですが、アンケートが長すぎました泣。
- 白馬村は住んで子育てしている身として、子供や高齢者に非常に優しくなく、観光業、観光客に重点を置いてばかりで住みにくいなと感じています。このように意見を述べてもなかったようにされるのもわかっています。観光業を大事にしたいのはわかりますが、どうか住んでる住民を第一に考えて事業を進めていただきたいと思います。
- 小学校の合併
- 日頃から保育園や子育て支援課の方々に大変お世話になっており感謝感謝です。家庭によりのおぞむものや必要なものも違い難しいところだとは思いますが、すべてが子どもたちのためになるように進めていただければありがたいです。
- 村の良さをもっと体験できるといいなと思います。育休を進めるのならば、簡単で無料の申請代行を行っていただきたいです。例えば、1名育休希望者が出ました！と電話すればO.K.のようなシステム。
- 安心して子育てできる環境作りのために出来ることは協力していきたいと思っています。
- 低所得者の支援ばかりじゃなく、税金をちゃんと納めている子持ちの家庭みんな平等に扱って欲しい。
- 問 13 に記入したとおりです。
- しろま保育園では以上児（満3歳から）になると、副食提供（ご飯などの主食）が園で行われていないため毎日保護者が家から白米を持参している形が取られていると思いますが、忙しい共働き家庭にとって毎日の白米持参は負担が大きいので、園での提供に変えて欲しいと切に願っています。さらに、未満児と小学生・中学生は主食を含めた給食が提供されているのに、以上児のみ対象外というのは理由が理解できません。主食分の給食費が追加で必要ならその分を含めた上で、給食費を設定するべきです。是非とも早急な制度の改定をお願いいたします。

- 白馬村周辺の市町村で発達障害児が利用できる療育施設等の活動内容や説明がまとまって書いてあるリストを作って保護者にわかりやすく説明して気軽に見学に行けるようにして欲しい。白馬村には療育施設がないため発達障害児が利用できる施設が1ヶ所に集中してしまい、空きがなく利用できない人がいるので白馬村で療育施設を公募して白馬村に療育施設を作りたい。利用する、しないに関わらずに誰に対しても受けれる、利用できる支援は必ず伝えて欲しい。発達障害児が利用できる白馬村周辺の市町村の福祉サービスをまとめた冊子を作りたい。気軽に親身になって発達障害児の親が話しを聞いてもらったり、アドバイスをもらえる場所が欲しい。発達障害児の保育園、幼稚園、小学校選びの流れを説明したり相談のつてくれてアドバイスもらえる場所が欲しい。
- 無添加で安心なおやつや飲み物を売っているお店、もしくは販売をして欲しいです。もしくは、一切何も売らないにして欲しいです。水だけでいいです。おやつや飲み物を買うとなると必ず砂糖だらけのものか添加物だらけの物ばかりで困っています。子供の事を本気で考えるなら体に毒な物を取り扱うのをやめて欲しいと切に願います。
- 自分が子どもの頃は年中から幼稚園に通う子どもがほとんどだったときくと、時代によって子の環境が大きく変わっていると感じる。経済状況や社会の流れに子どもが振り回されるのではなくて、子どもがのびのびと育つ姿を見守るような支援が欲しい。子育てサポートに積極的な企業を応援して欲しい。
- 24時間365日いつでもすぐに子供を預けられる施設・体制を作りたい。(不測の事態が起きた時等子供を預けられる施設・体制が必要)
- 無電柱化も良いですけど通学路の歩道の整備もよろしくお願いします。それが無理ならスクールバスのサービス拡張をお願いします。子供の送り迎えも親の大きな負担になっていますよ。子供は国の宝です。より良い子育ての環境になるようお願いします。
- 英語を学ぶ環境をもっと
- 地元の子育て世帯が雨の日、雪の日でもあそべる屋内施設を作ってほしい。支援ルームのような形ではなく、もっと自由にいつでも行きやすい場所がほしい。
- 就労関係なく預けたいと思った家庭全員が預けられるようにしてほしい。2人目を2歳差で産んだ場合に上の子が下の子が2ヶ月たったら退園する制度だとそこから3歳になるまでずっと赤ちゃんを2歳を見てるのは無理。身も心もおかしくなりそう。一日中YouTube三昧になる。一時保育で弁当作って預ければってことでしょか…土日祝日も働いている場所が土日祝日関係ないところだとキツイ。うんと頑張らなくても気軽に子育てできるようにしてほしい。生活がきつくてお金がほしいからはやく働きたいのに6ヶ月～働きたくても空きがない場合のお金の補償をしてほしい。というかサンライズしか6ヶ月～預けられるところがない。年齢別のお弁当を予約制でもいいから売ってほしい。新田に公園がない。そもそも白馬に産婦人科がない、出産できる場所がないところからいやだ。
- 先端技術を取り入れた新しい時代に対応した実用性の高い教育の促進。一方人への思いやりなど教育の場では軽視されがちな道德に関する教育の強化。
- 個人の勝手な意見ですが、南小学校と北小学校が合併し、ひとつになる方が子どもたちの環境的にも良いのではないかと思います。そのためにはスクールバスの整備などたくさんの課題はあると思いますが、子供が減ってるのが現実なので、ひとつにしてもいいのではと思います。

- どの教育機関も常に様々な人種と交わる場所であって欲しい。そこに慣れているか否かでスタートラインが大きく違うと思うため
- 白馬村が冬のパウダースノーと並んで世界に自慢できる「日本イチ子育てしやすい街」となる事を村民より願っています。
- 幼稚園延長保育の補助金申請は、役場に毎月申請しに行くようになっていきます。園と役場で情報を共有して、自動的に補助金を振り込めるようにしてもらえると大変助かります。
- 核家族化が進んでいるのにそれに合わせた支援の仕組みがまだまだできていないように思います。白馬村は子供が多いのに公園もなく、病院も少なく図書館も小さく子育てするには不便な事が多いように感じます。未来を担う子供達のために施設や支援にお金を使って欲しいです。
- 40代の自分が産まれた頃は、おじいちゃんおばあちゃん近所のおじさんおばさんと沢山触れ合っていて過ごしていたように思います。今は時代も違うし、あんまり厳しい言い方をしたらすぐにハラメントだとか色々言われて問題視されたりして、、、大人が他人の子供と接する機会は少なくなってきています。負担がかかる人や場が昔よりも限られてしまっているからこそ、他県の保育園では考えられないようなミスがあって子供を死なせたり、子育てに疲弊した母親や父親は仕方なく子供を殺めてしまったり、悲しいことが次々と起きているように感じています。正解不正解にこだわらず、もっと世代を超えて関わりあえる社会が必要と感じています。
- 子供のクリエイティビティを刺激するような場所や企画やイベントがほしいです。例えばメッシーデー(汚れても良い日)などが恒例のイベントとしてあるといいなあと思います。支援ルームに絵の具やクレヨン、粘土等で遊べるコーナーもあるといいなあと思います。